

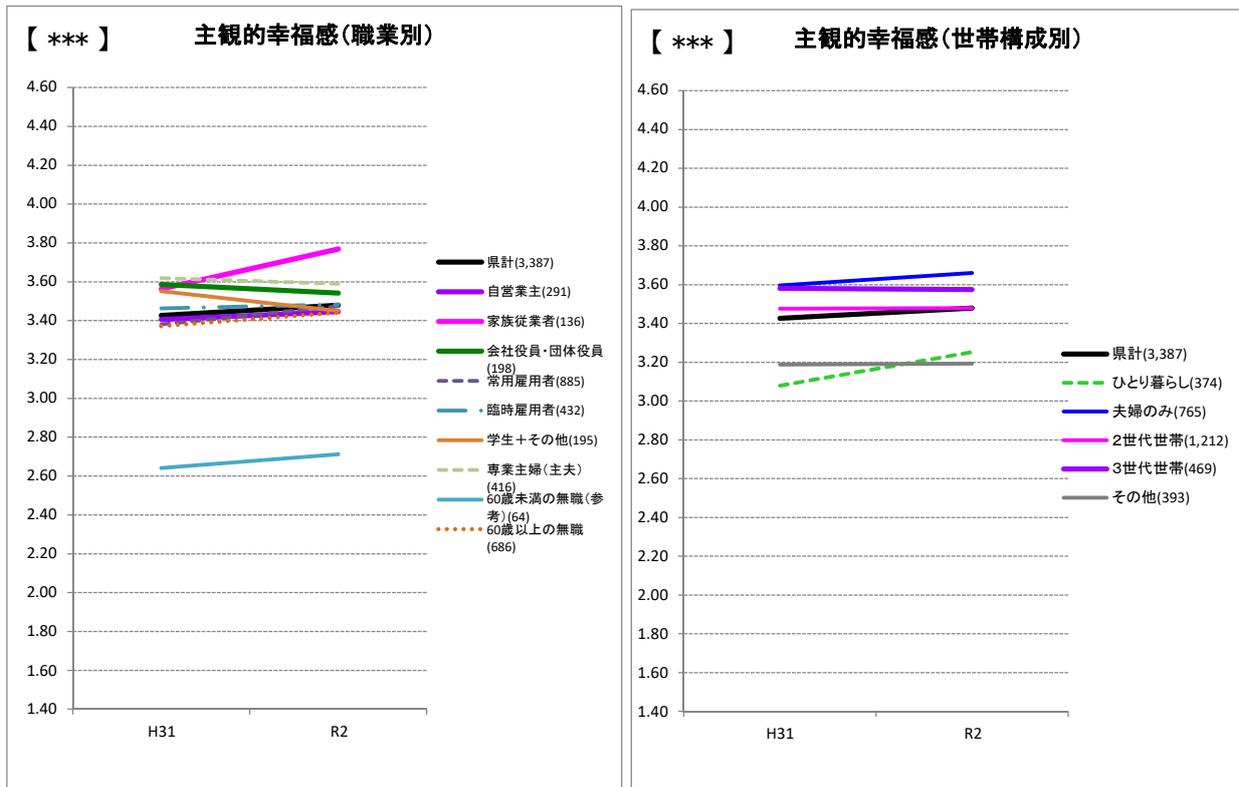
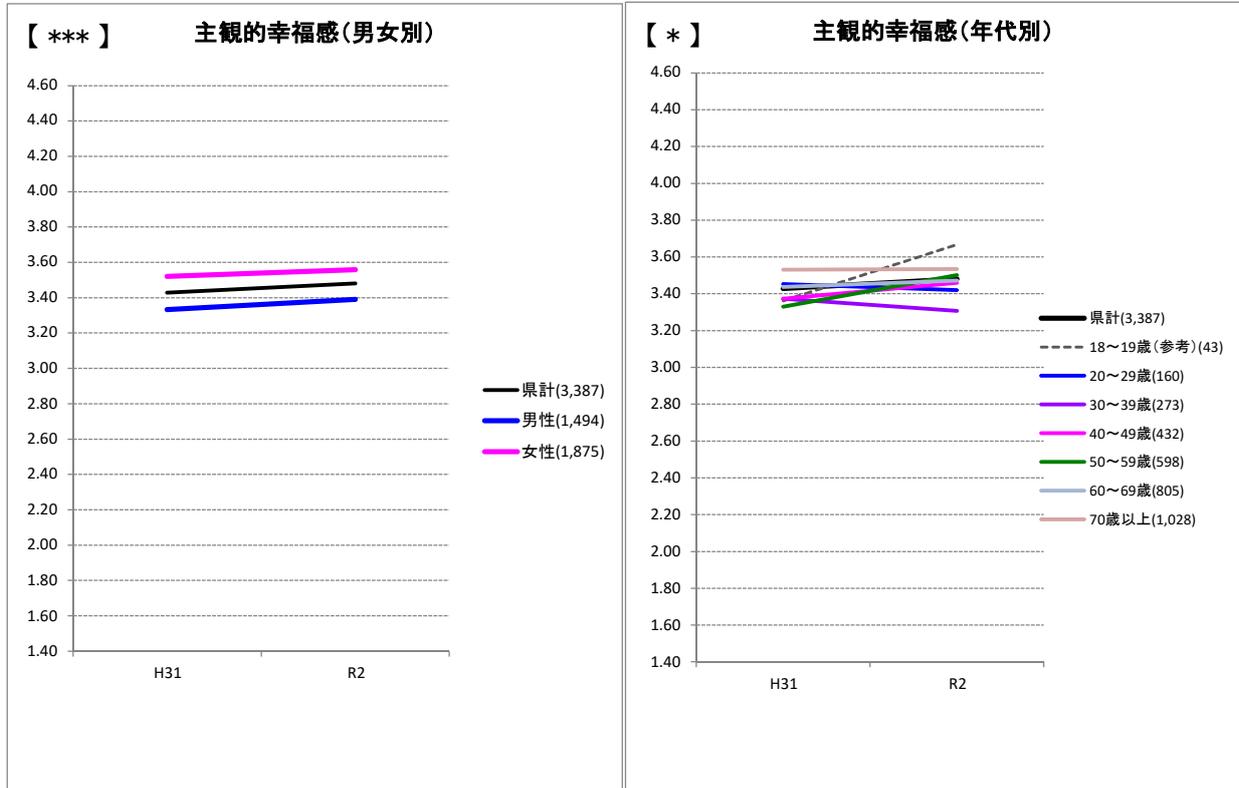
県民意識調査 属性別分析結果

【県計】【主観的幸福感】あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

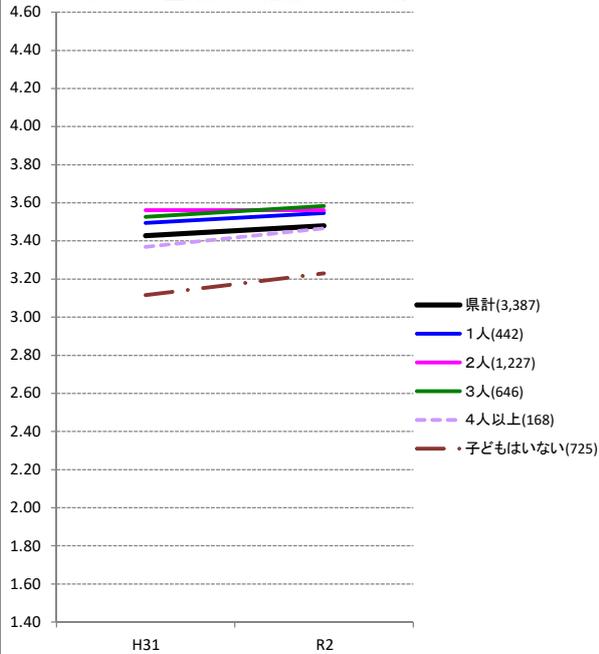
・令和2年調査結果において、属性別に見ると、男女別、職業別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別で有意な差が認められた。

男女別では、女性が高く男性が低かった。職業別では、家族従業者が高く、60歳以上の無職が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、10年未満が高く、20年以上が低かった。

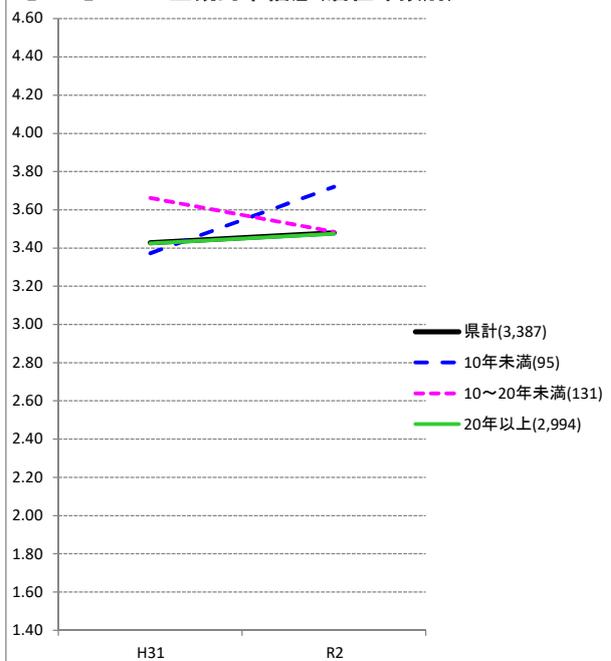
・幸福度の平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意な変化は確認できなかった。



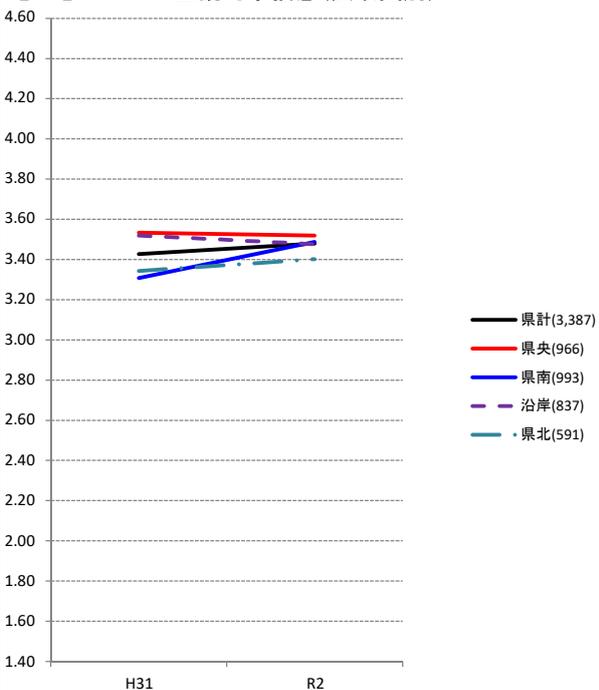
【***】 主観的幸福感(子の人数別)



【**】 主観的幸福感(居住年数別)



【-】 主観的幸福感(広域圏別)



「主観的幸福感(平均)について」

幸福感平均の算出方法

「幸福だと感じている」を5点、「やや幸福だと感じている」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり幸福だと感じていない」を2点、「幸福だと感じていない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除

■凡例■

グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意(差が認められる)

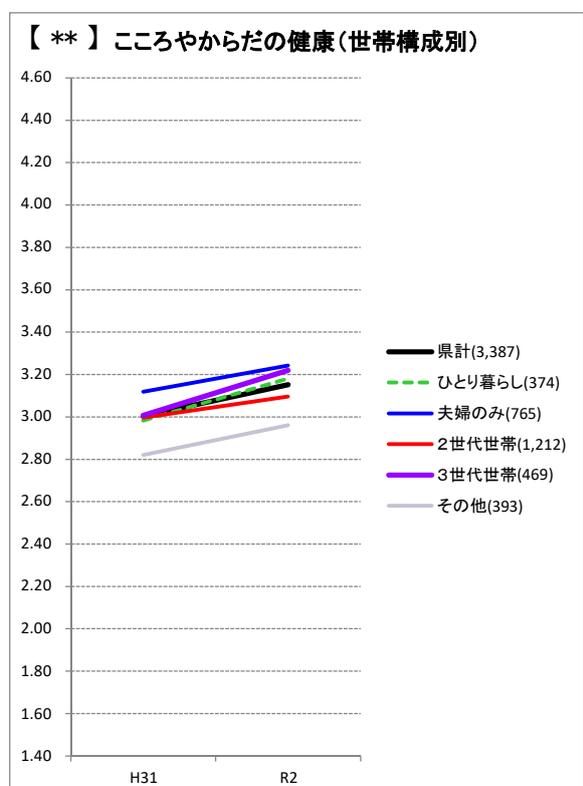
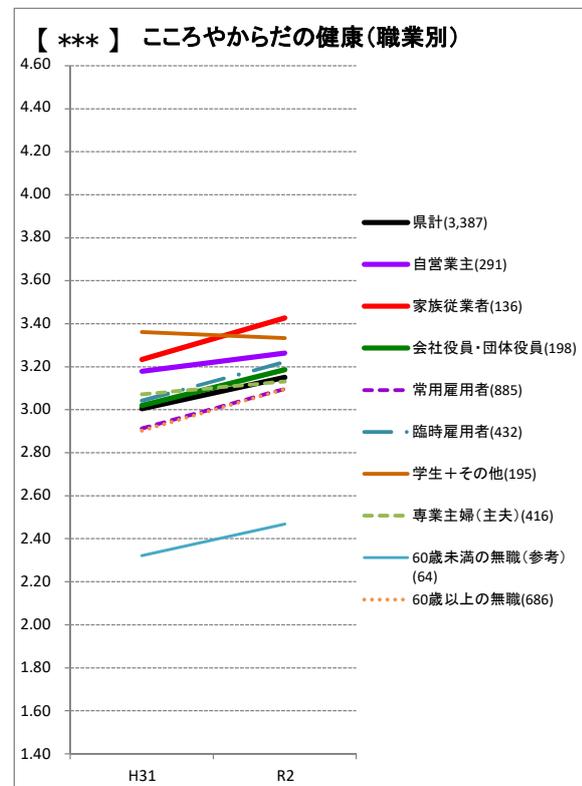
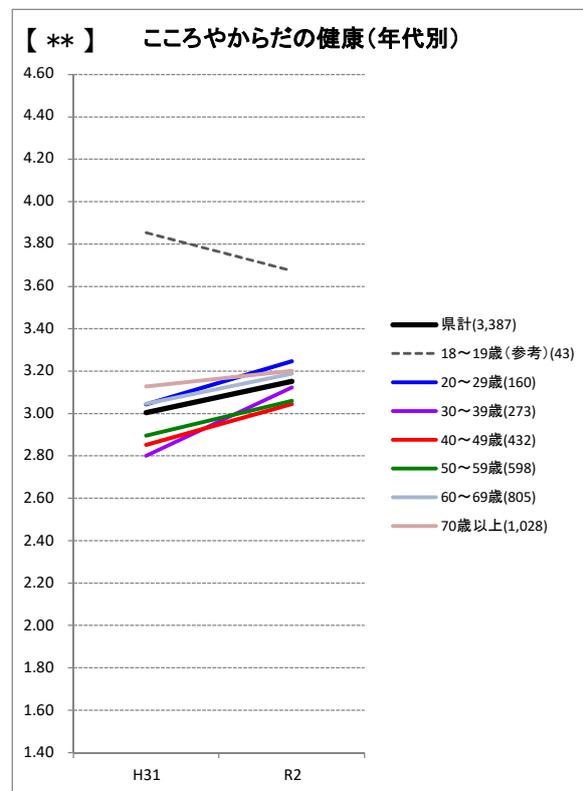
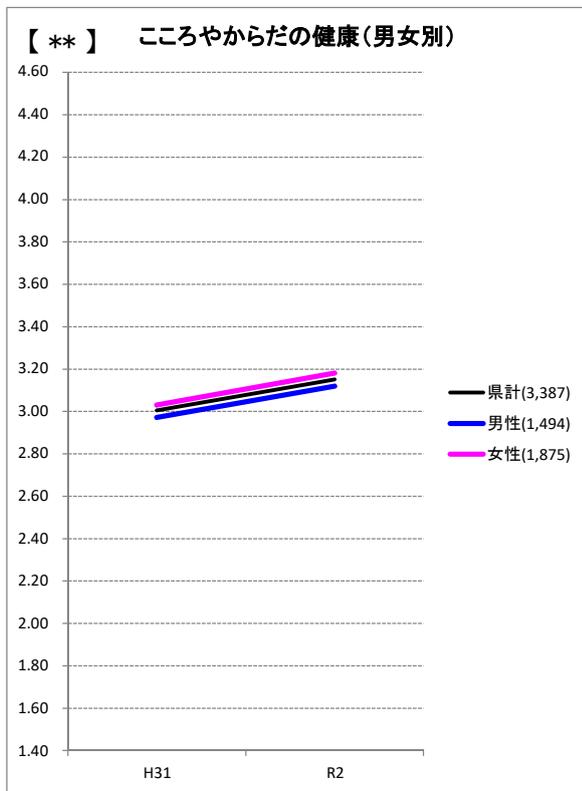
【-】差が認められない

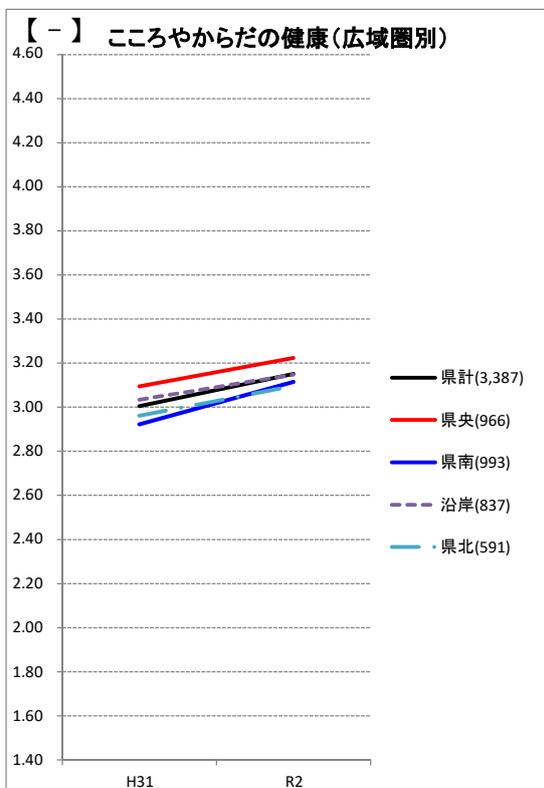
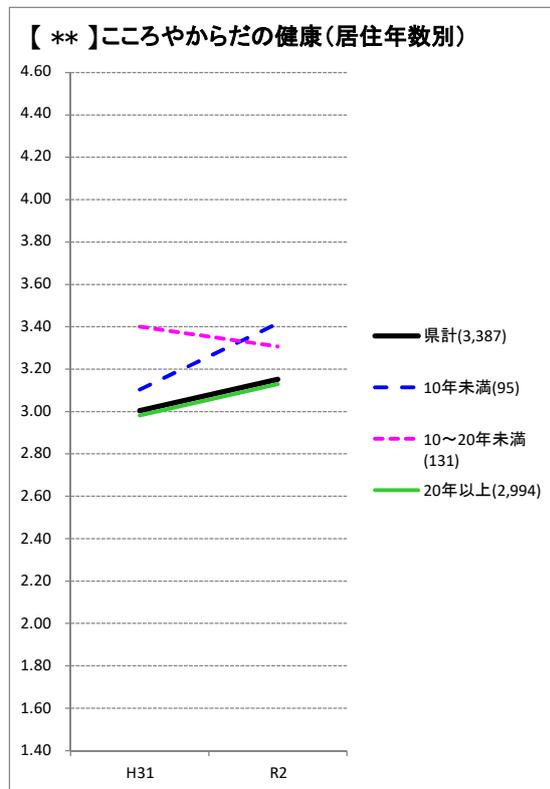
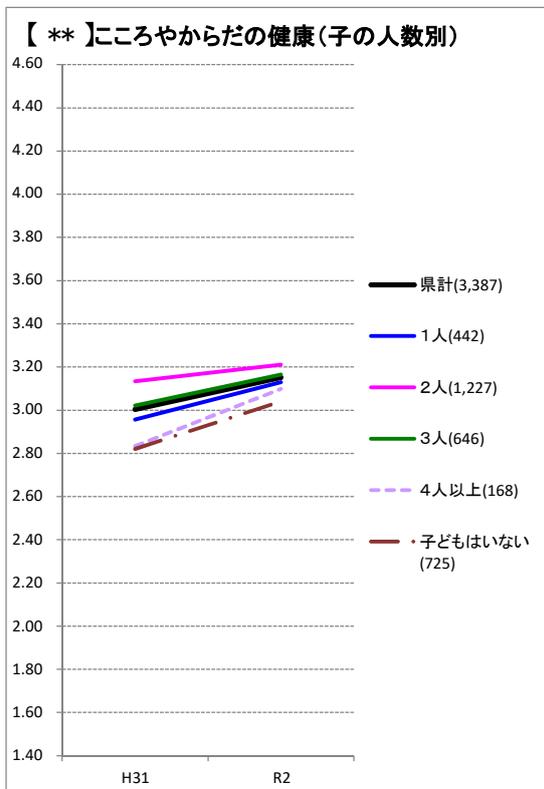
【県計】【分野別実感】①ころやからだ健康だと感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、男女別、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別で有意な差が認められた。

男女別では、女性が高く、男性が低かった。年代別では、20歳代が高く、40歳代が低かった。職業別では、家族従業者が高く、60歳以上の無職が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、10年未満が高く、20年以上が低かった。

・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に上昇していた。





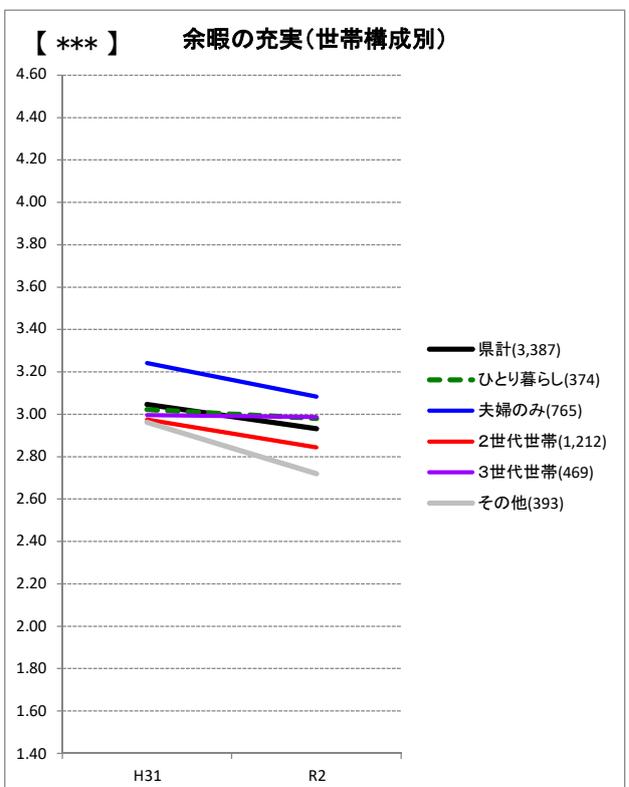
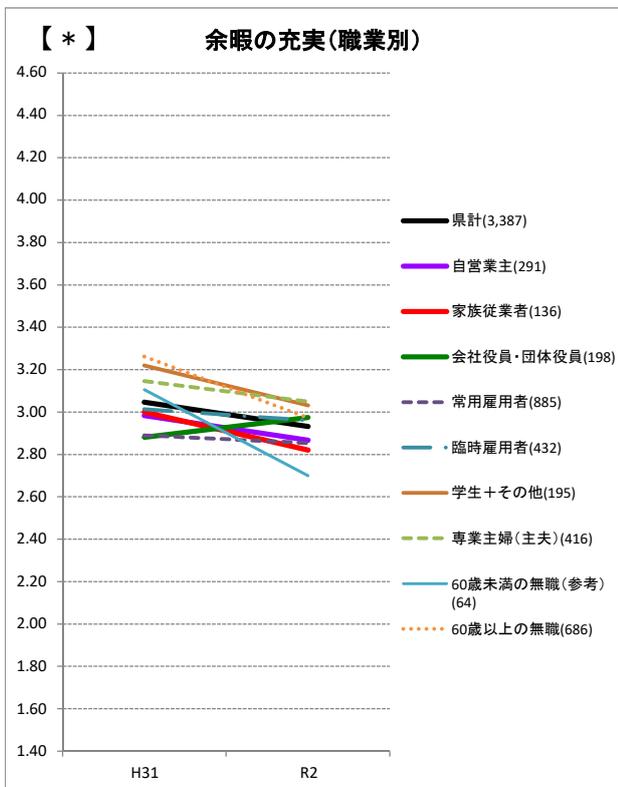
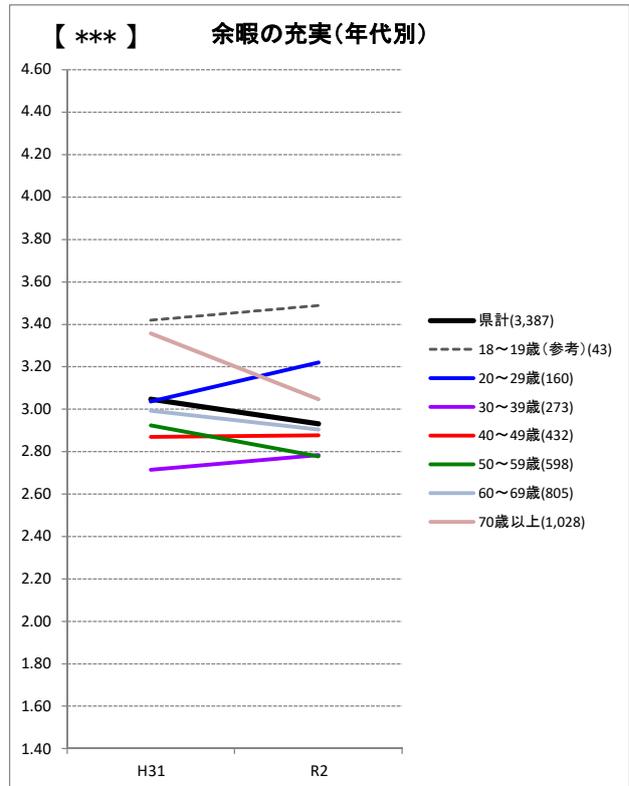
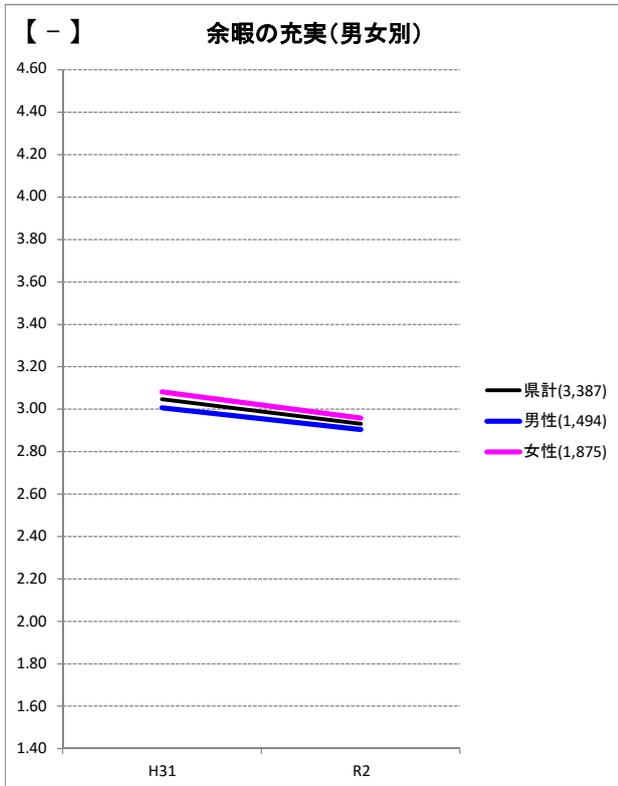
「分野別実感の属性別の実感平均について」

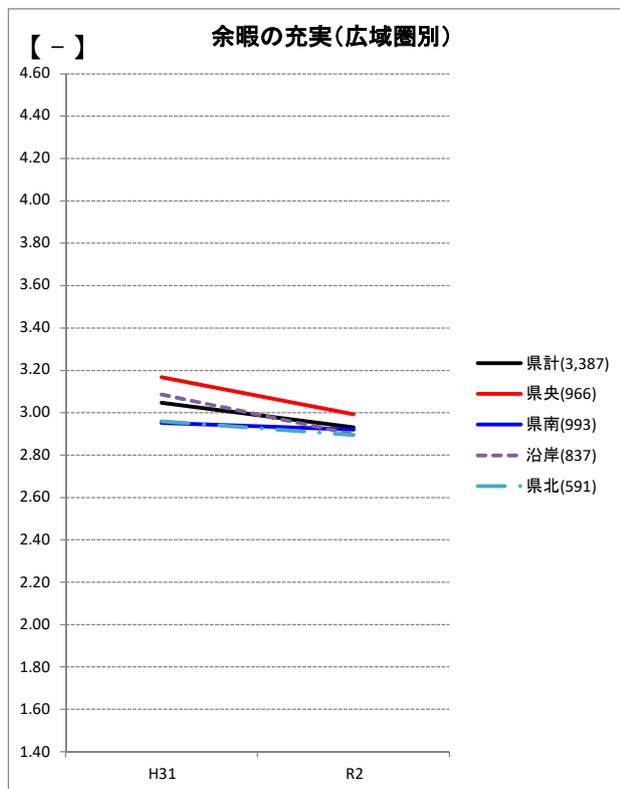
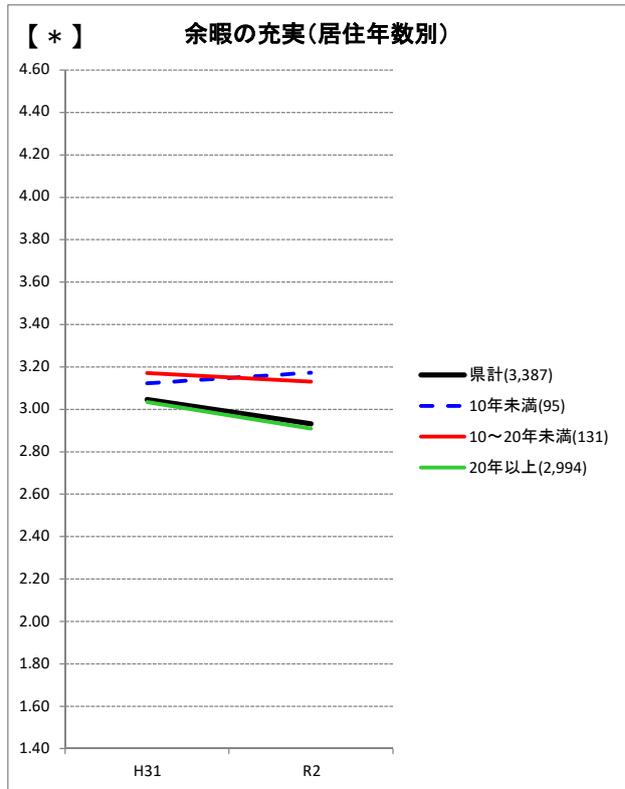
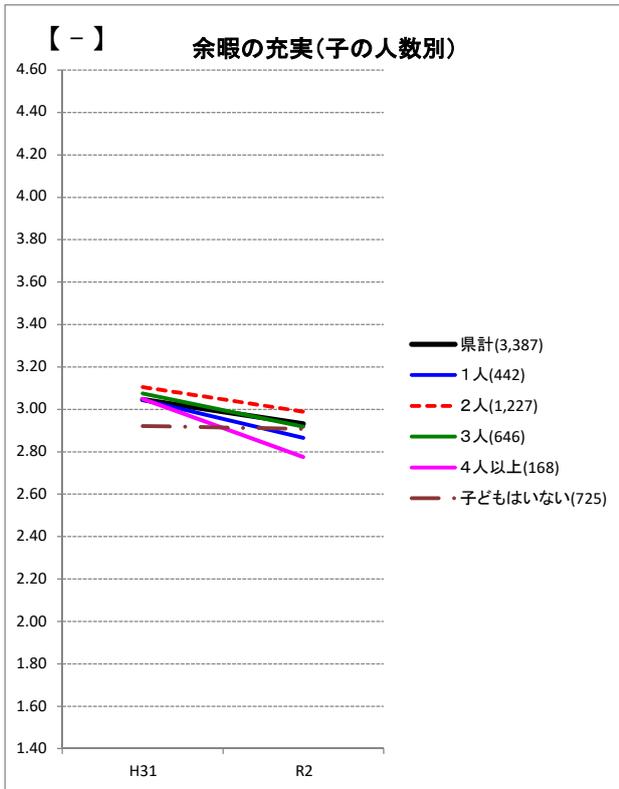
実感平均の算出方法
「感じる」を5点、「やや感る」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり感じない」を2点、「感じない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

- 凡例 ■
- グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 - 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 - 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 - 【*】10%水準で差が有意(差が認められる)
 - 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】②余暇が充実していると感じますか

- ・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別及び世帯構成別で有意な差が認められた。
- ・年代別では、20歳代が高く、50歳代が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。
- ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に下降していた。





■ 凡例 ■

グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

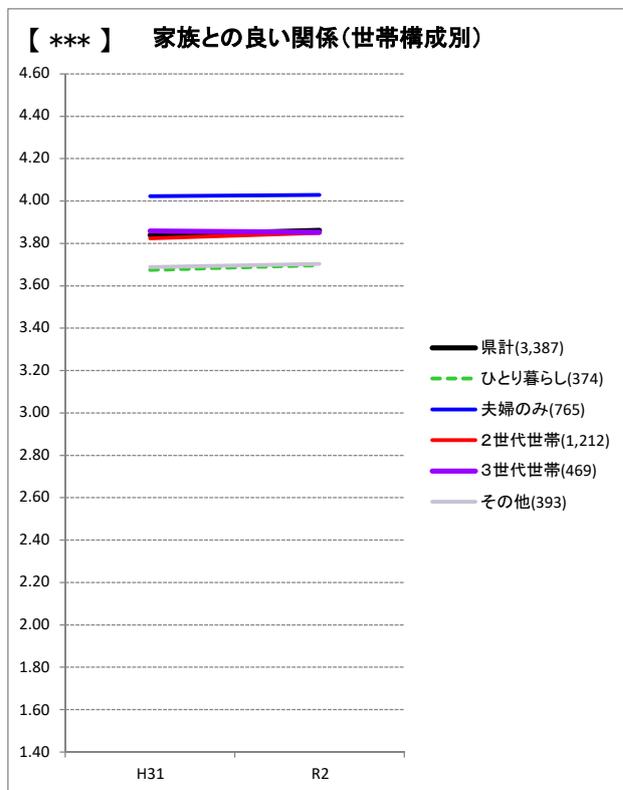
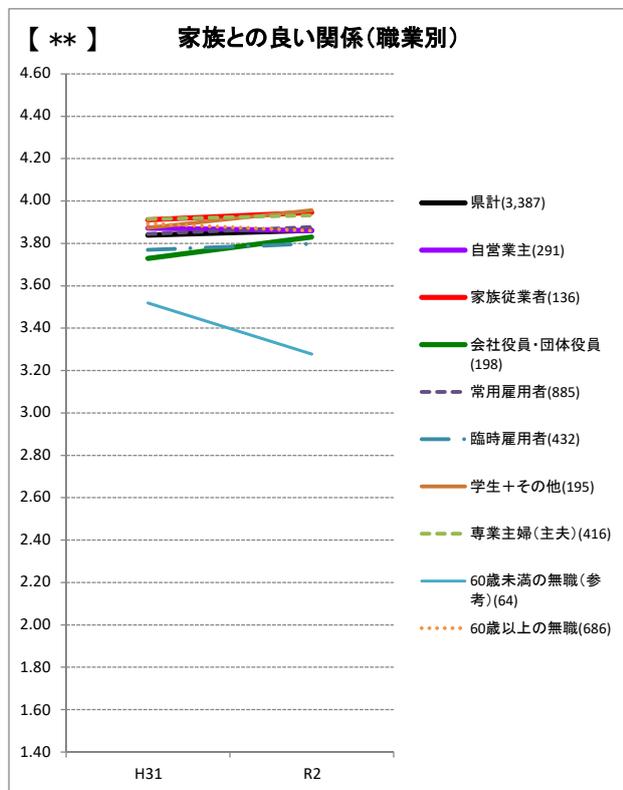
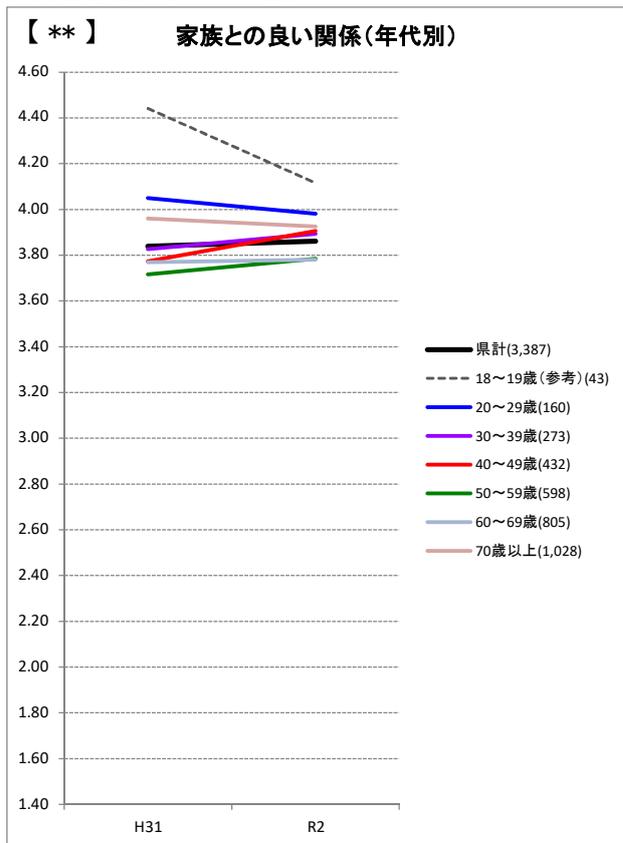
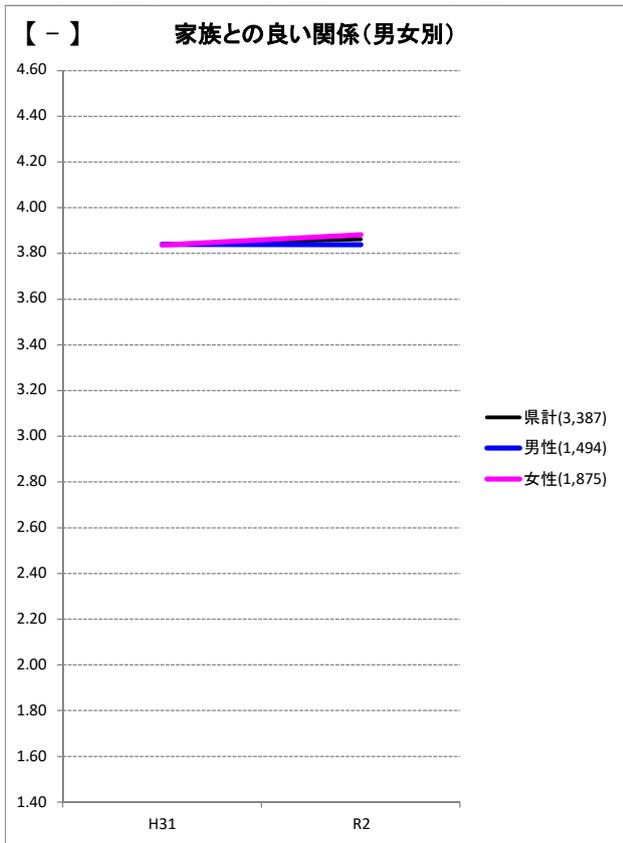
【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意(差が認められる)

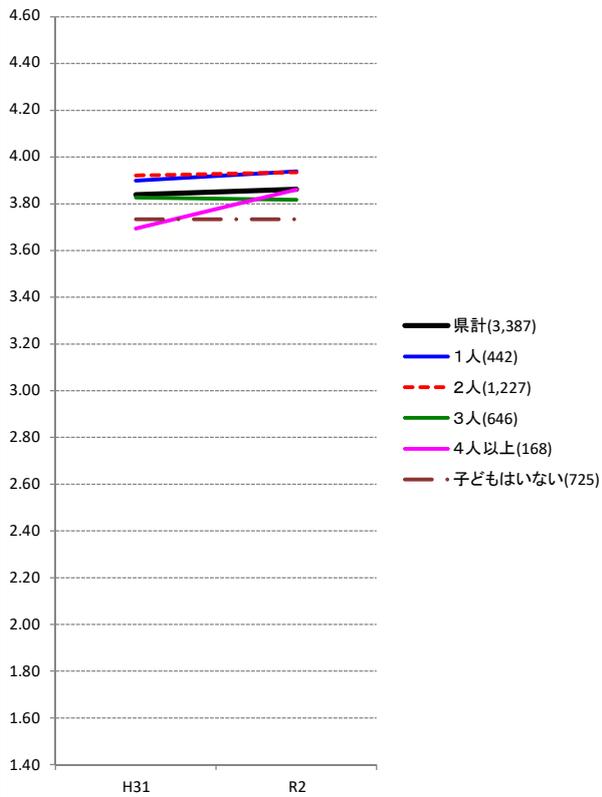
【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】③家族と良い関係がとれていると感じますか。

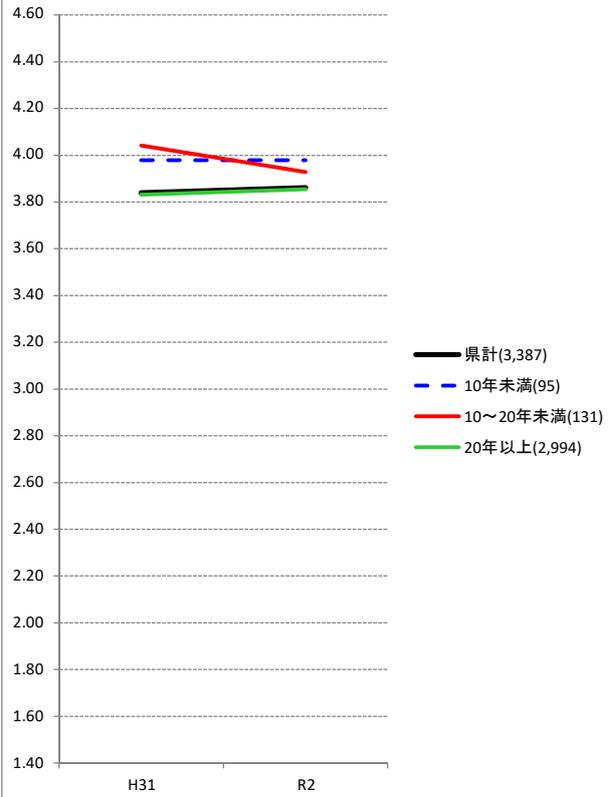
・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別で有意な差が認められた。
 年代別では、20歳代が高く、60歳代が低かった。職業別では、学生等が高く、臨時雇用者が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子1人が高く、子0人が低かった。
 ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意な変化は確認できなかった。



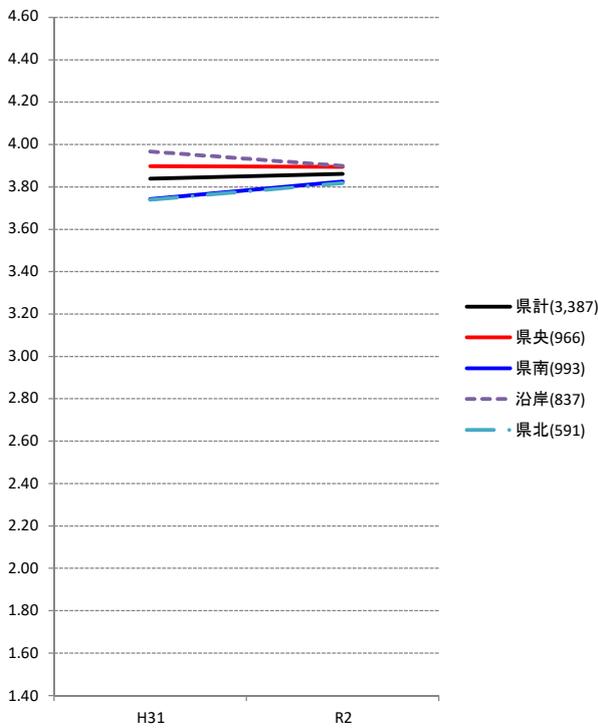
【**】 家族との良い関係(子の人数別)



【-】 家族との良い関係(居住年数別)



【-】 家族との良い関係(広域圏別)



■凡例■

グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

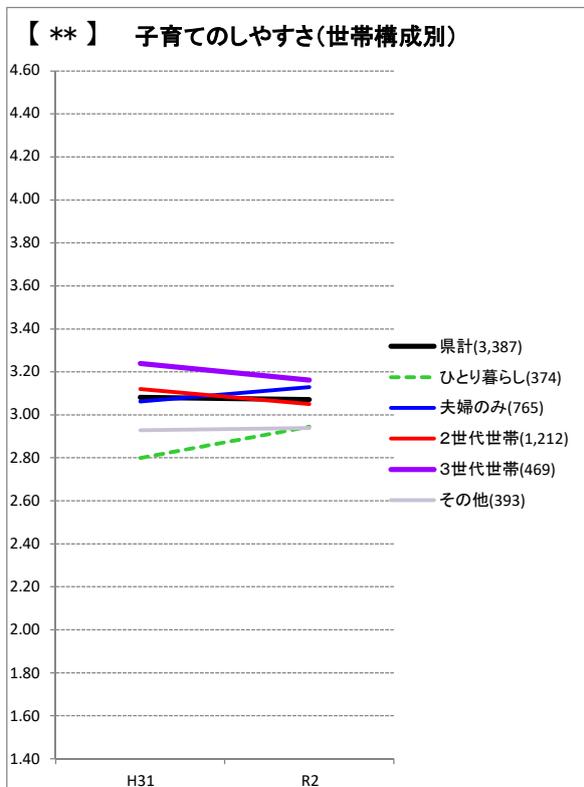
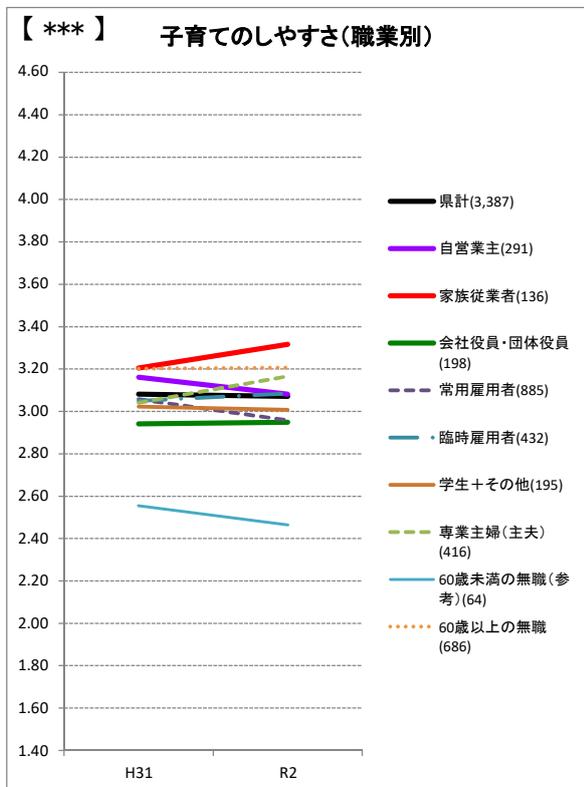
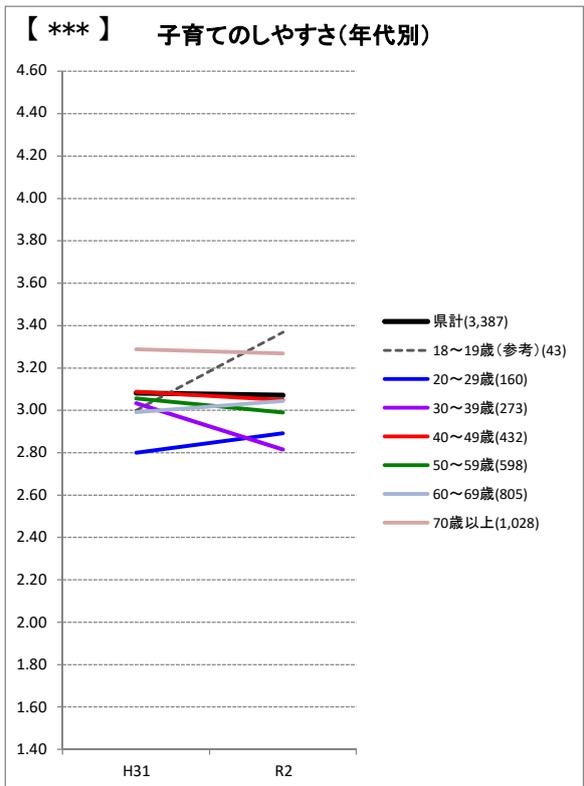
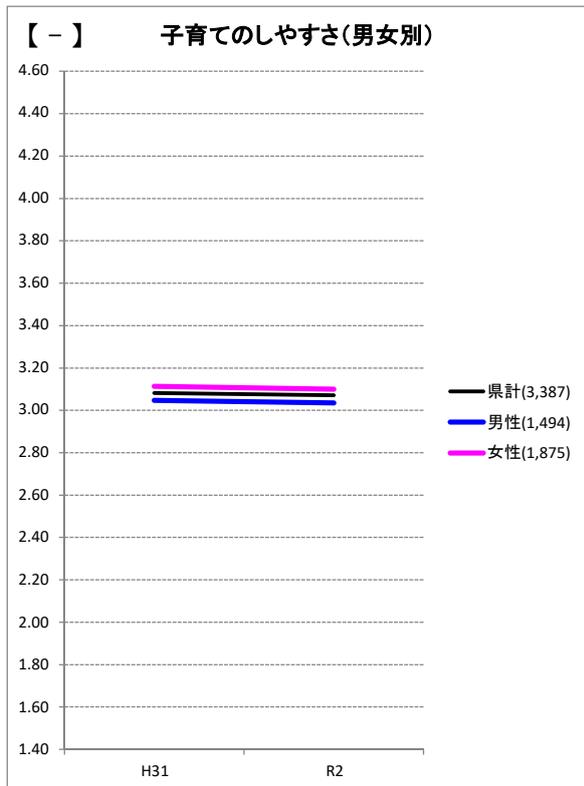
【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

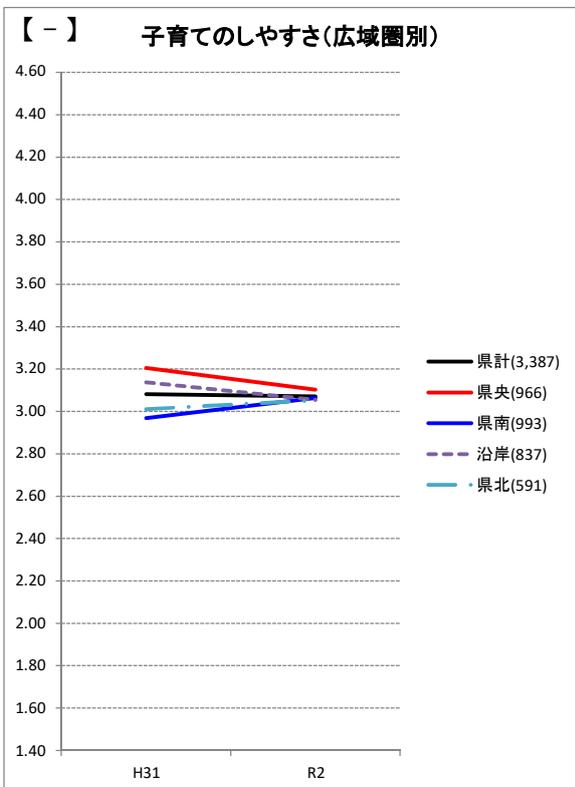
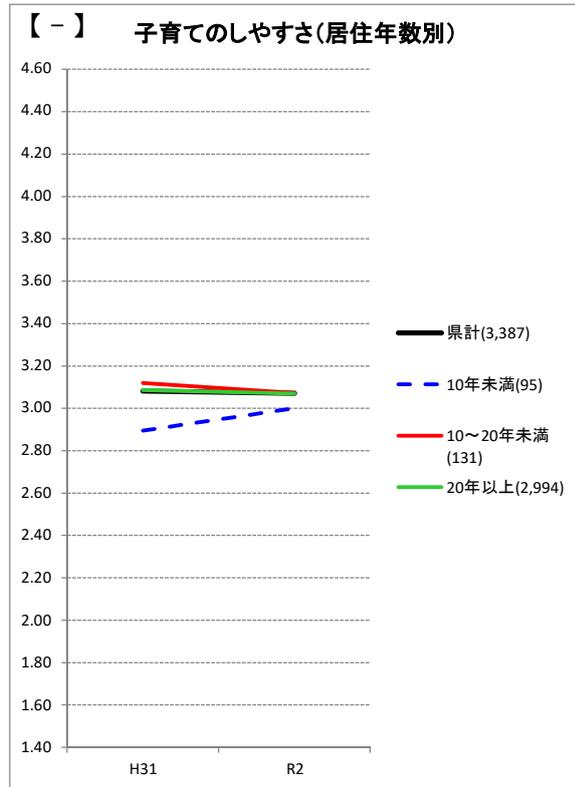
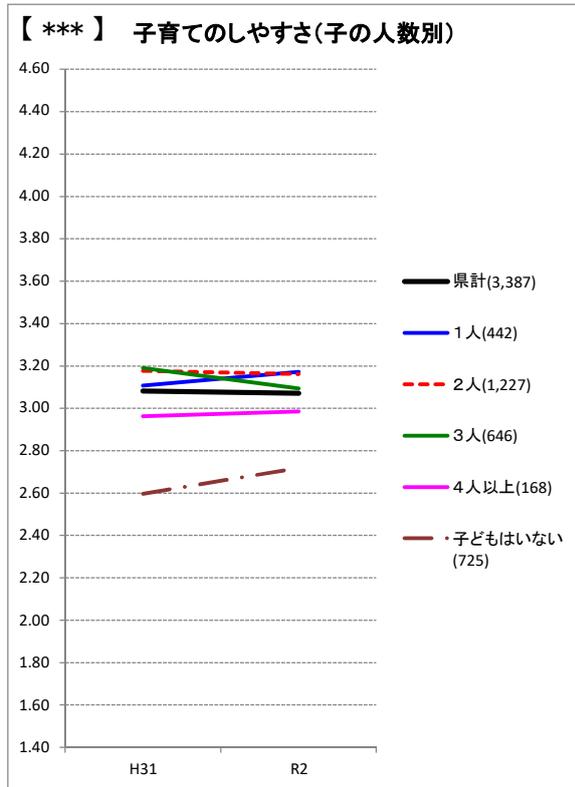
【*】10%水準で差が有意(差が認められる)

【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】④子育てがしやすいと感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、家族従業者が高く、会社役員・団体役員が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子1人が高く、子0人が低かった。
 ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意な変化は確認できなかった。

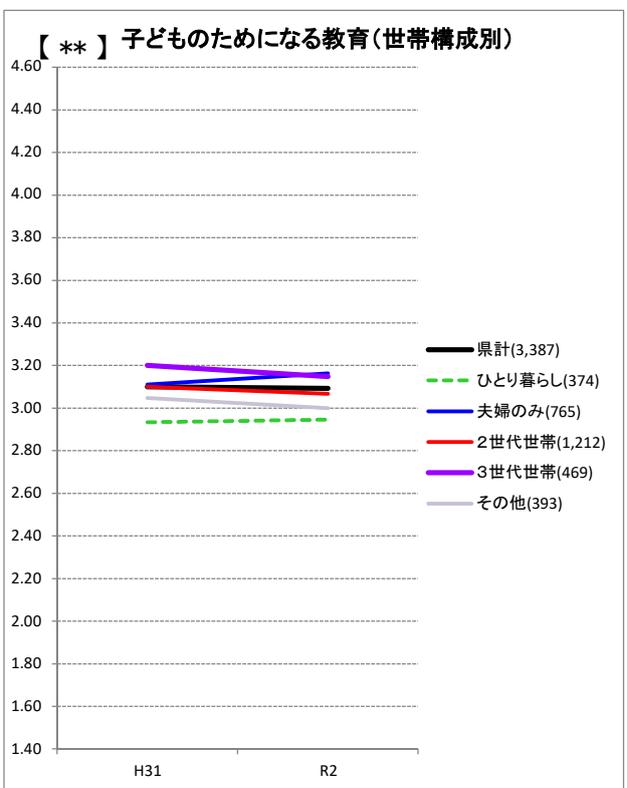
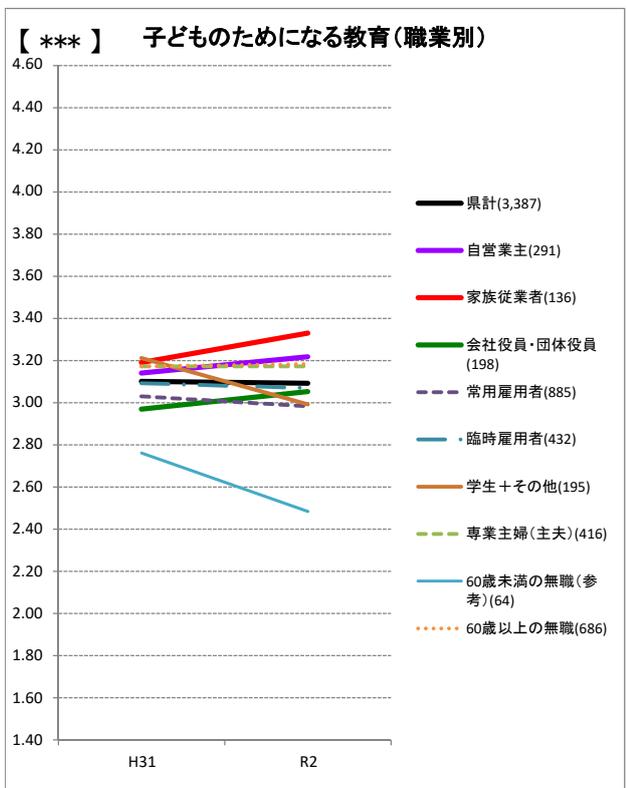
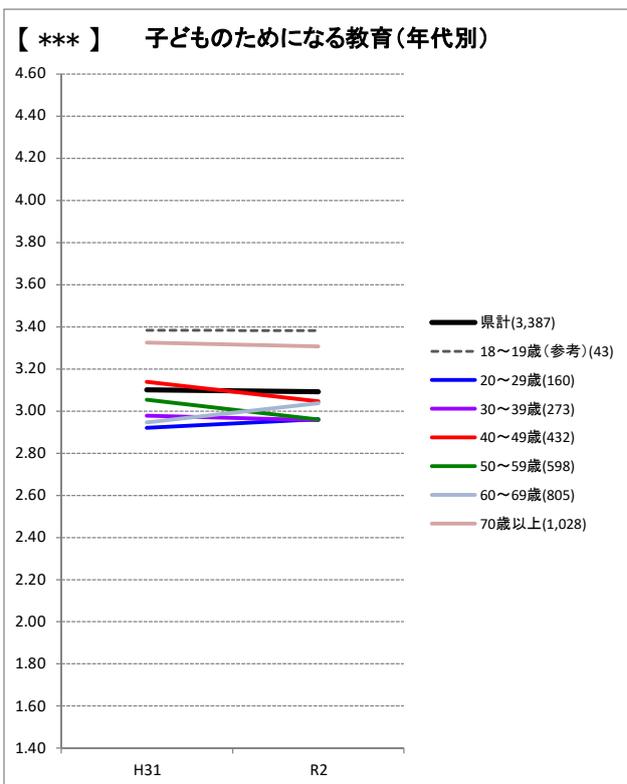
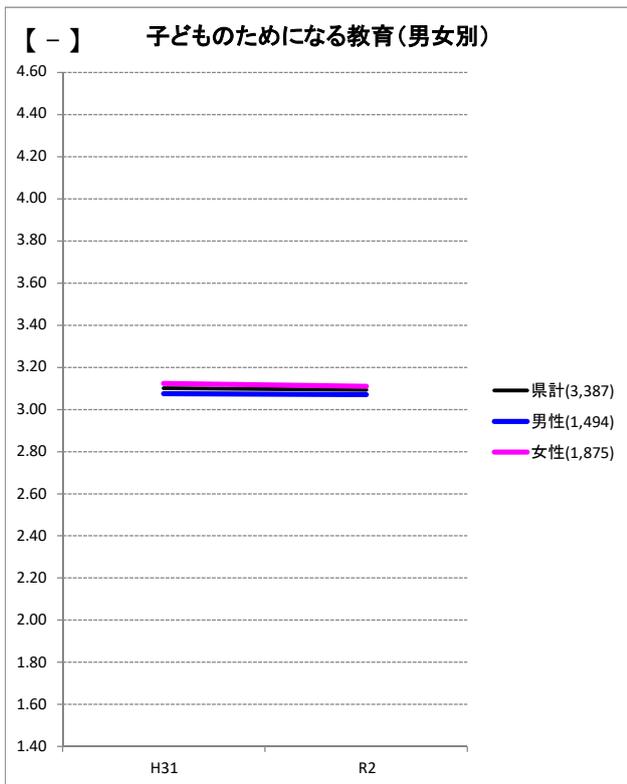


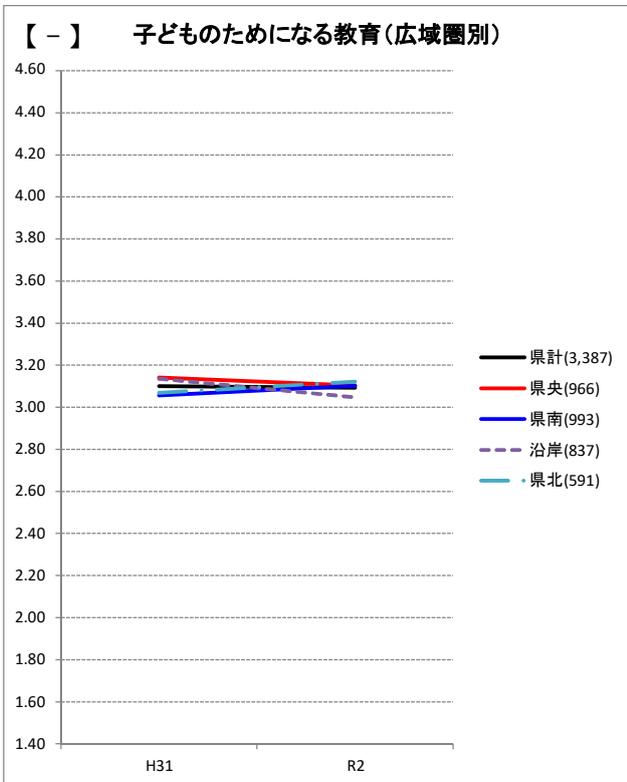
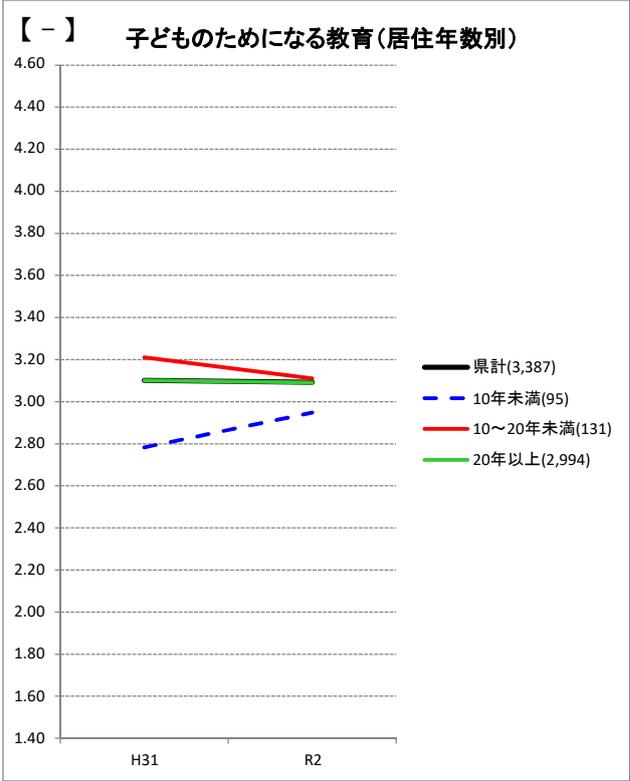
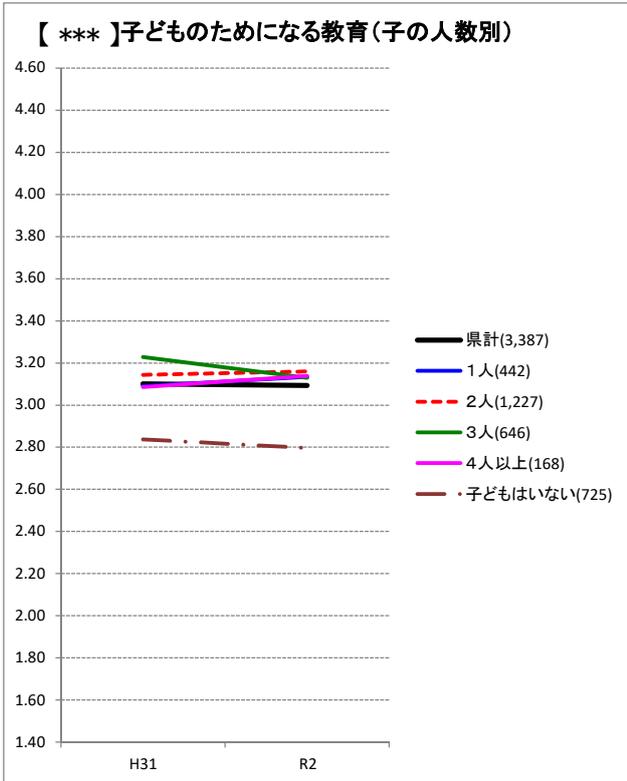


■凡例■
 グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められる)
 【-】 差が認められない

【県計】【分野別実感】⑤子どものためになる教育が行われていると感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別で有意な差が認められた。
 年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、家族従業者が高く、常用雇用者が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、ひとり暮らしが低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。
 ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意な変化は確認できなかった。





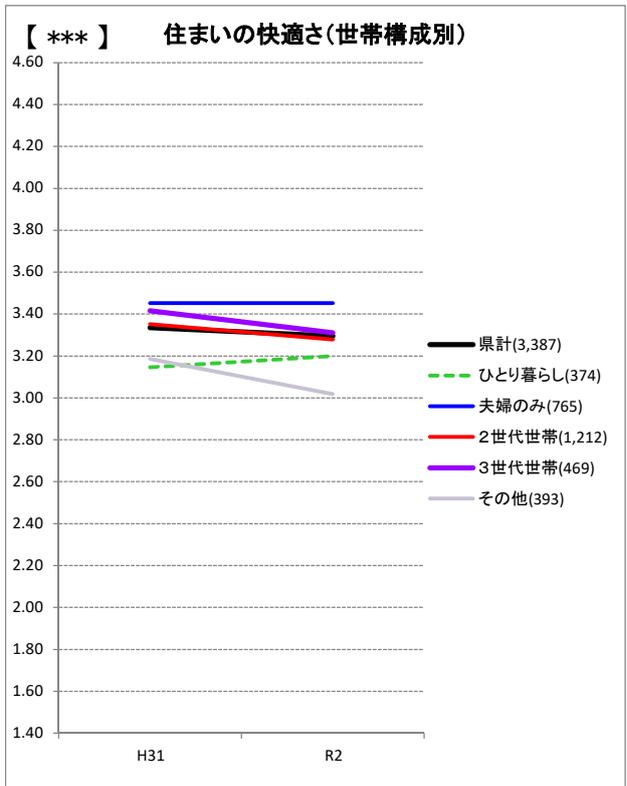
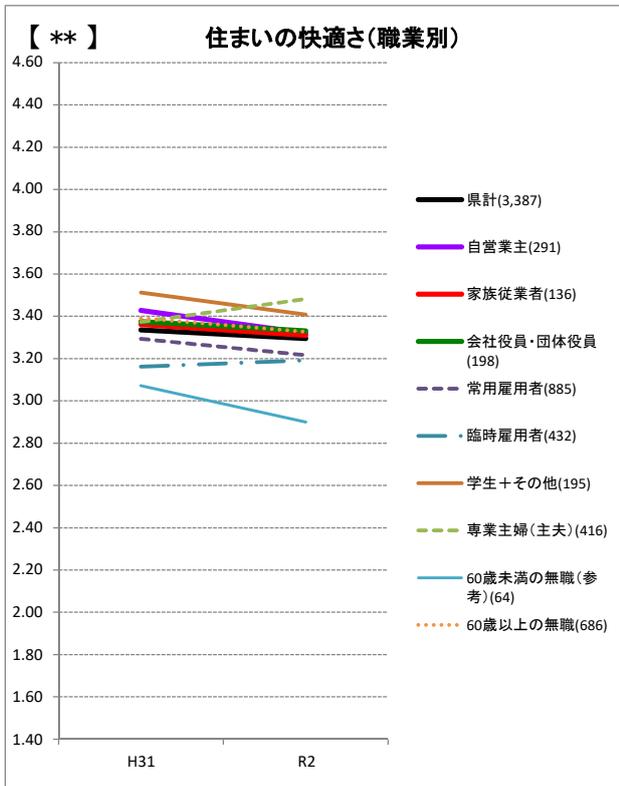
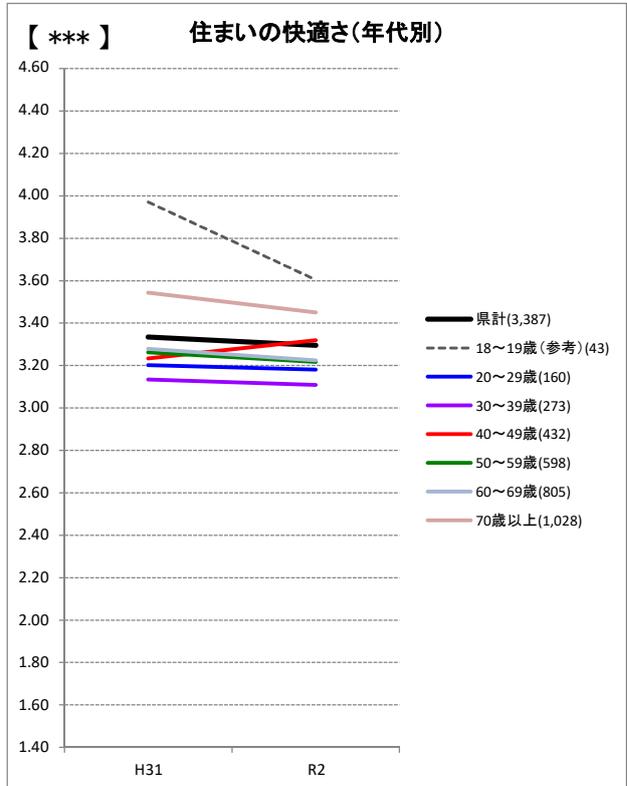
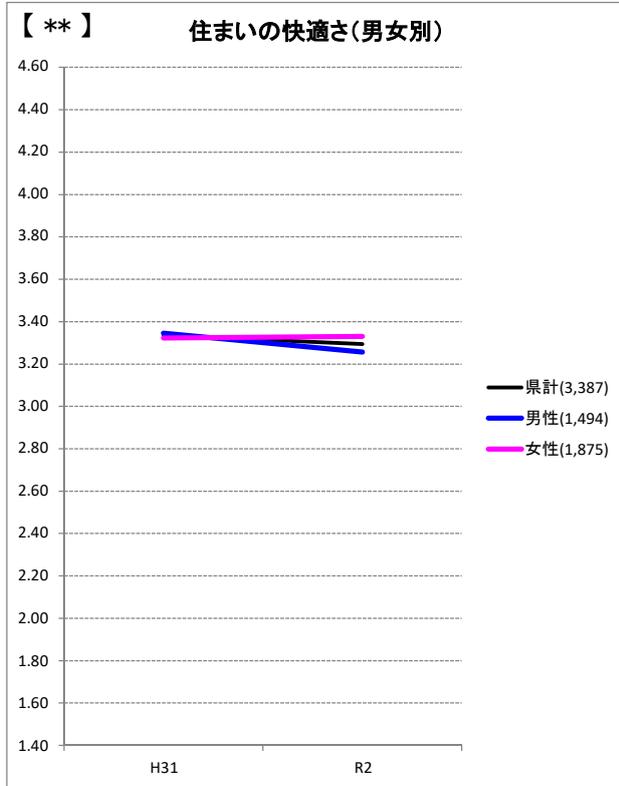
■凡例■
 グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められる)
 【-】差が認められない

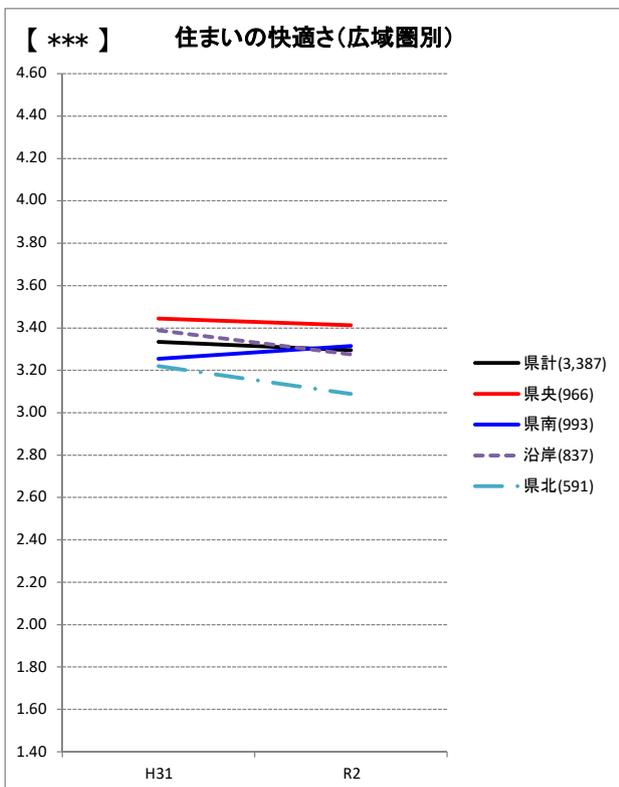
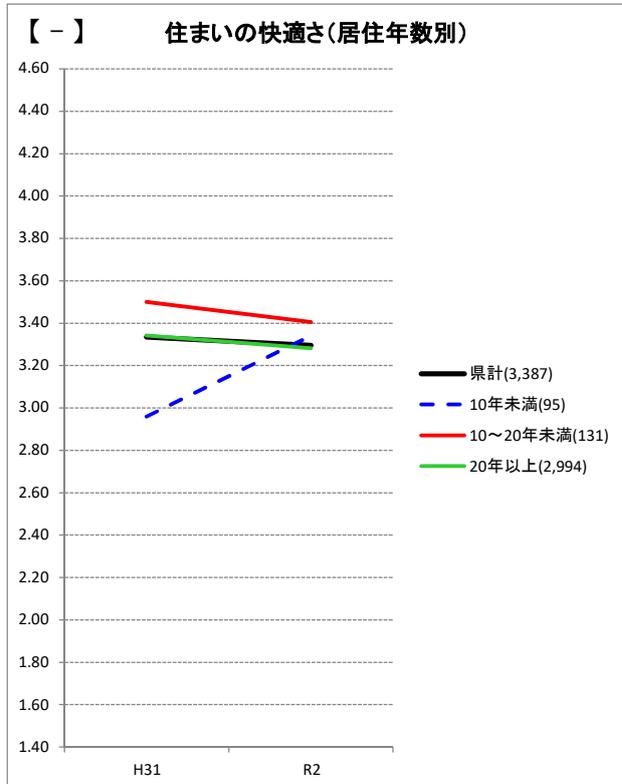
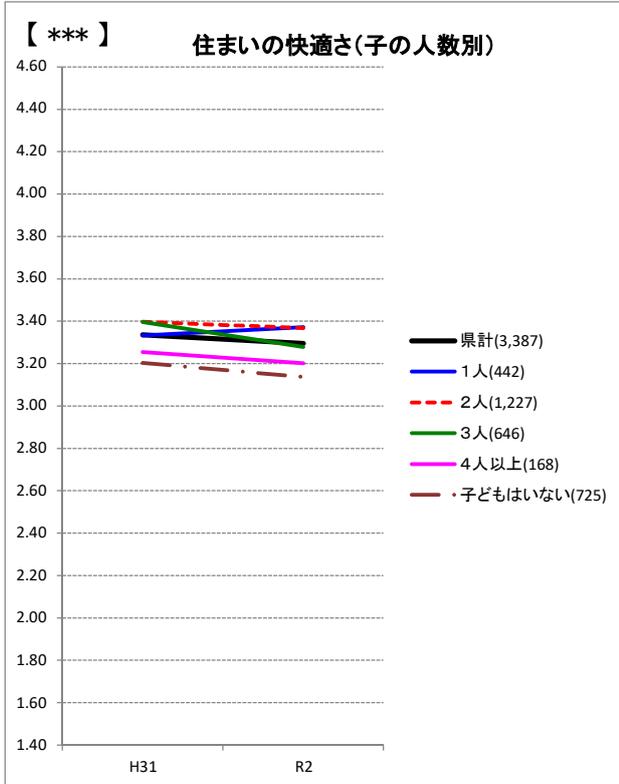
【県計】【分野別実感】⑥住まいに快適さを感じますか

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、男女別、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、広域圏別で有意な差が認められた。

男女別では、女性が高く、男性が低かった。年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、専業主婦(主夫)が高く、臨時雇用者が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子1人が高く、子0人が低かった。広域圏別では、県央広域振興圏が高く、県北広域振興圏が低かった、

・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意な変化は確認できなかった。





■凡例■

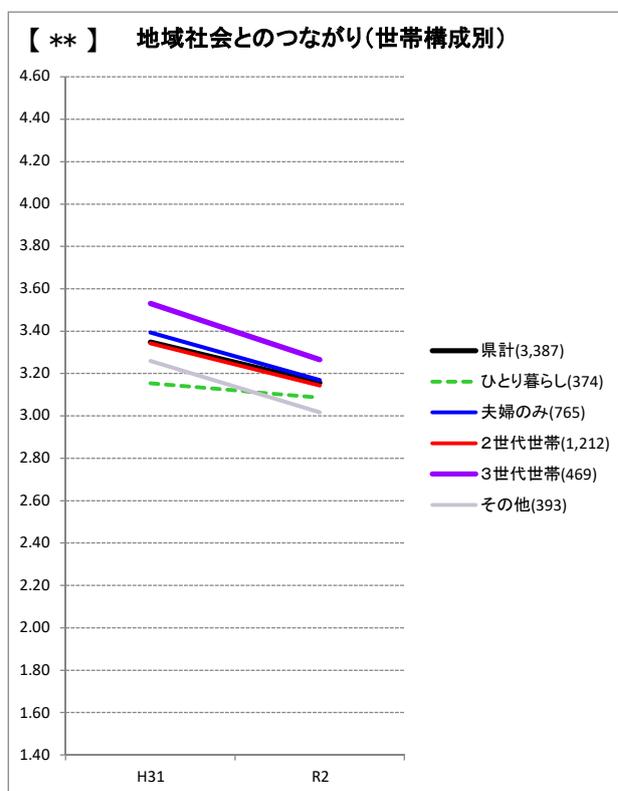
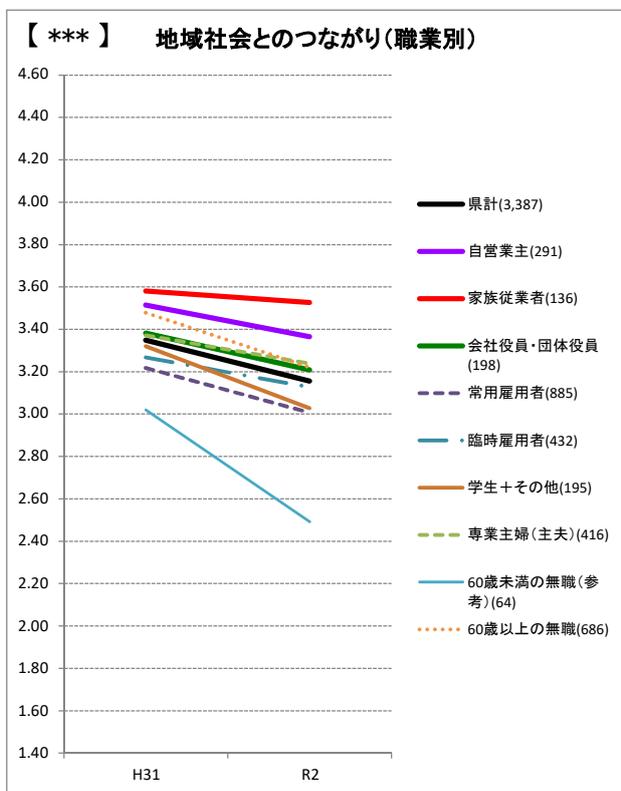
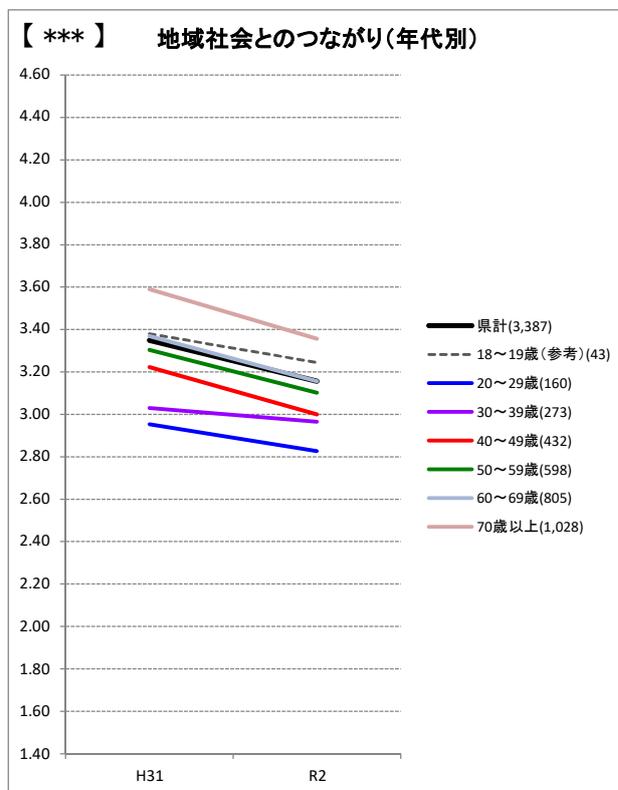
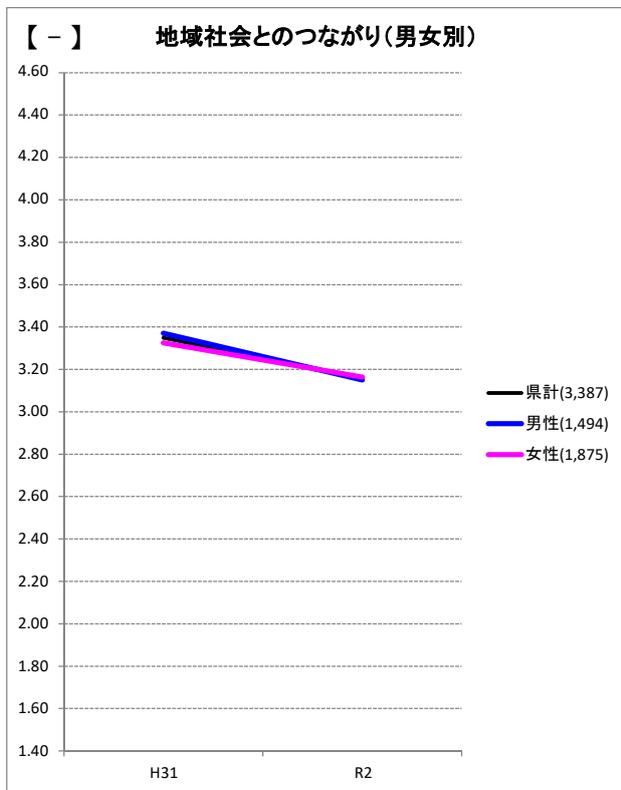
グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】 1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】 10%水準で差が有意(差が認められる)
 【-】 差が認められない

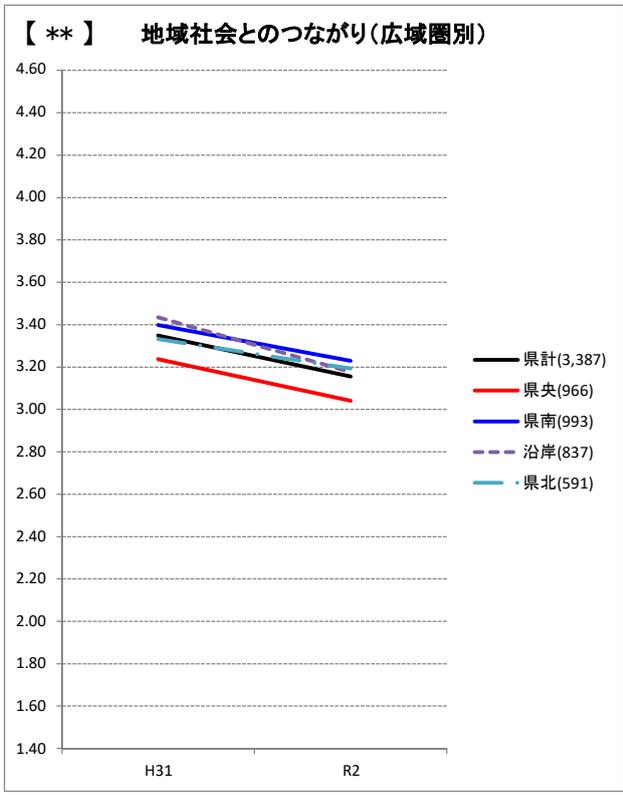
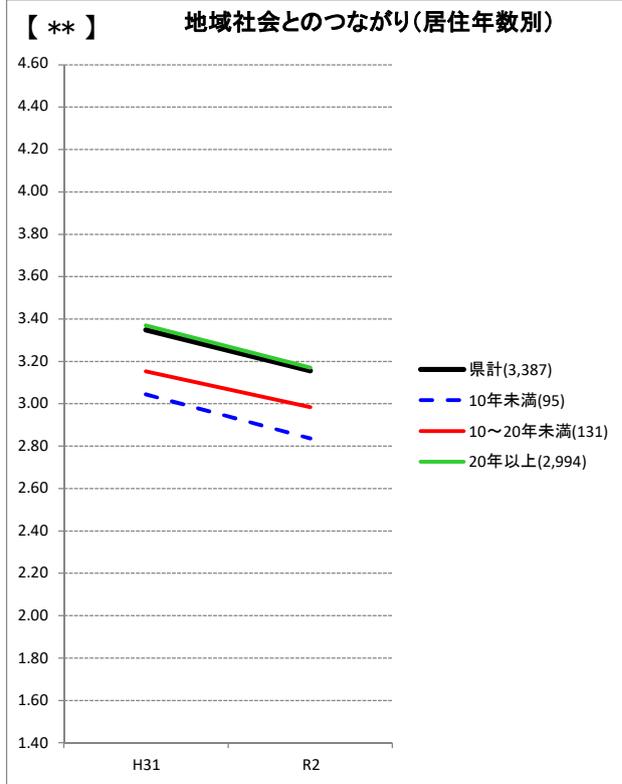
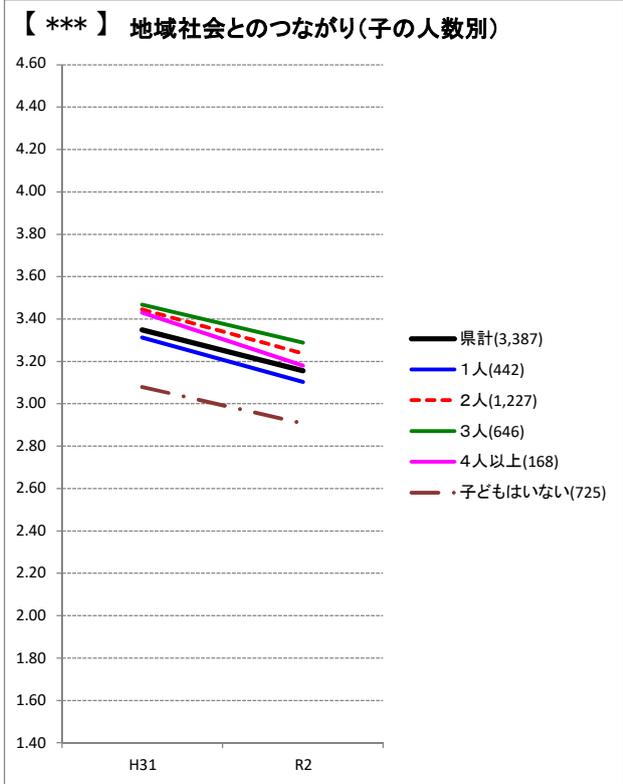
【県計】【分野別実感】⑦地域社会とのつながりを感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別、広域圏別で有意な差が認められた。

年代別では、70歳以上が高く、20歳代が低かった。職業別では、家族従業者が高く、常用雇用者が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、20年以上が高く、10年未満が低かった。広域圏別では、県南広域振興圏が高く、県央広域振興圏が低かった。

・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に下降していた。

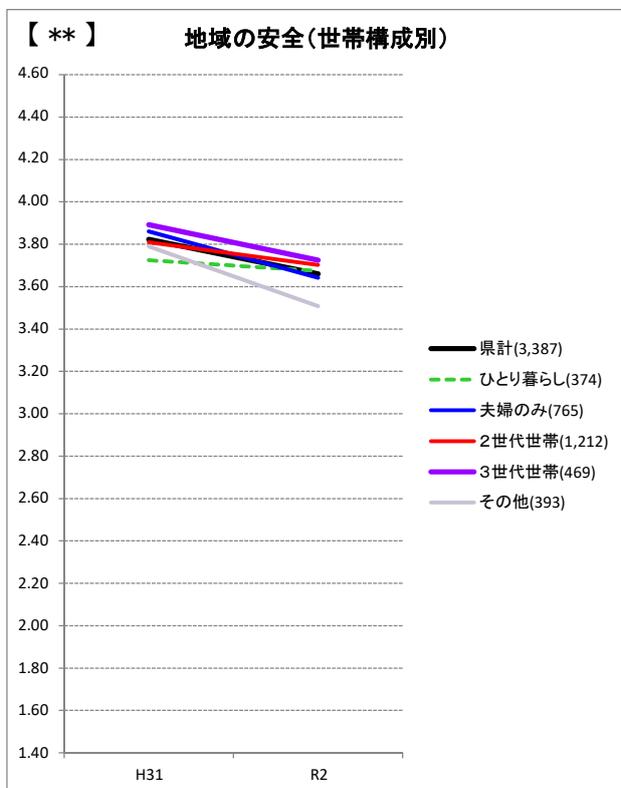
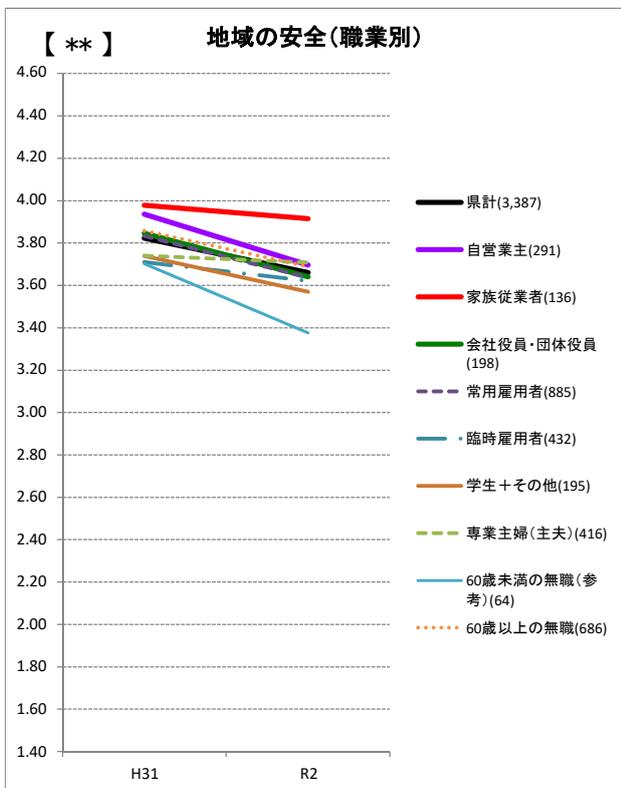
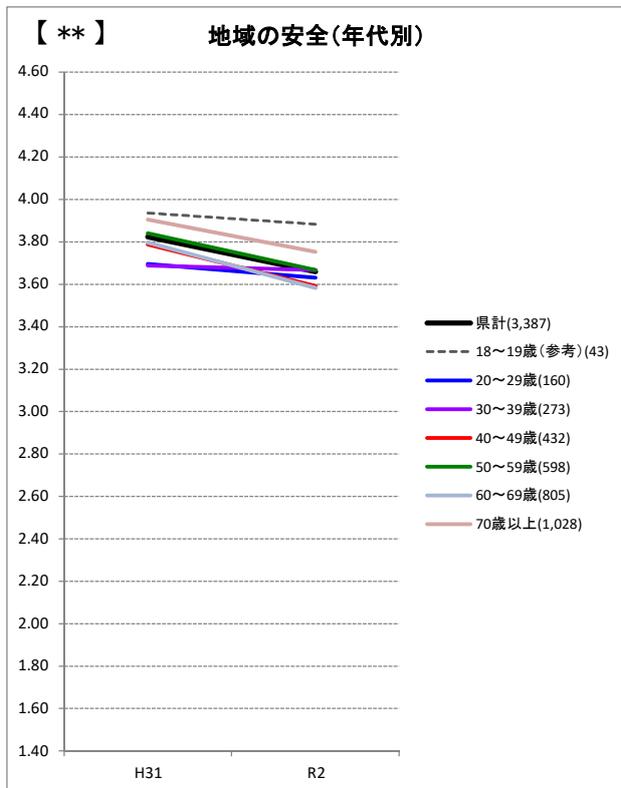
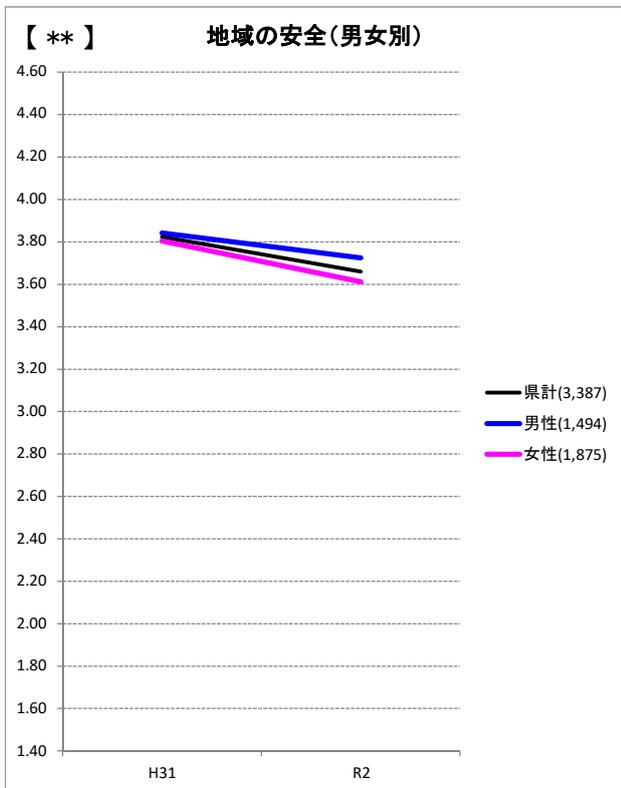


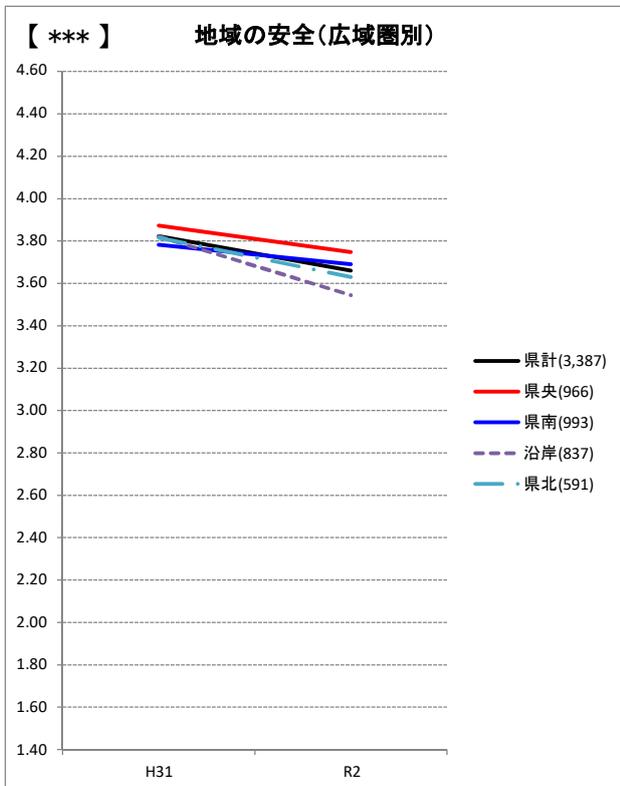
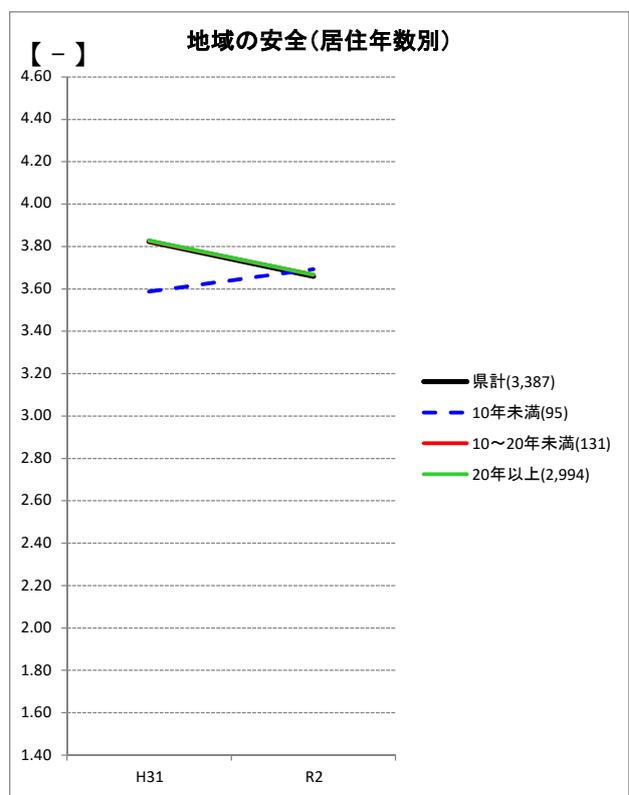
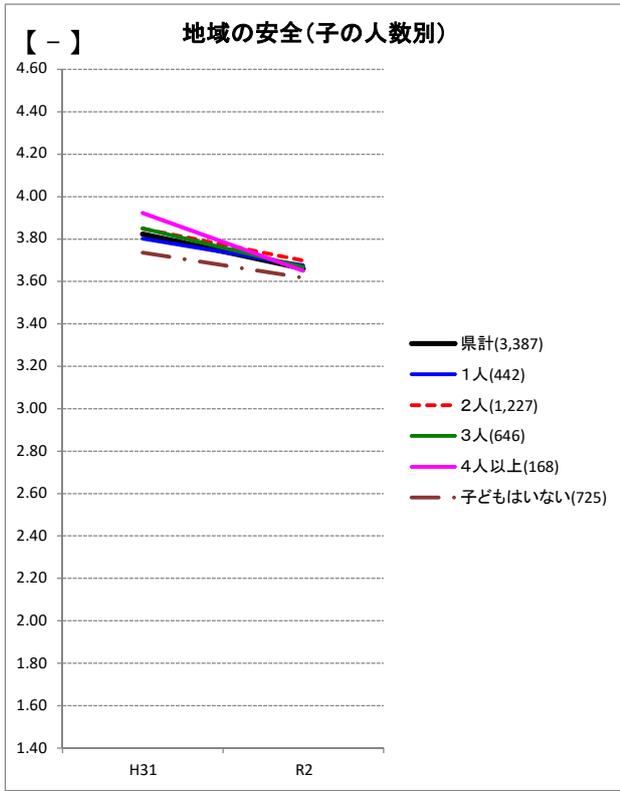


■凡例■
 グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】 1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】 10%水準で差が有意(差が認められる)
 [-] 差が認められない

【県計】【分野別実感】⑧お住まいの地域は安全だと感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、男女別、年代別、職業別、世帯構成別、広域圏別で有意な差が認められた。
 男女別では、男性が高く、女性が低かった。年代別では、70歳以上が高く、60歳代が低かった。職業別では、家族従業者が高く、学生等が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、その他世帯が低かった。広域圏別では、県央広域振興圏が高く、沿岸広域振興圏が低かった。
 ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に下降していた。

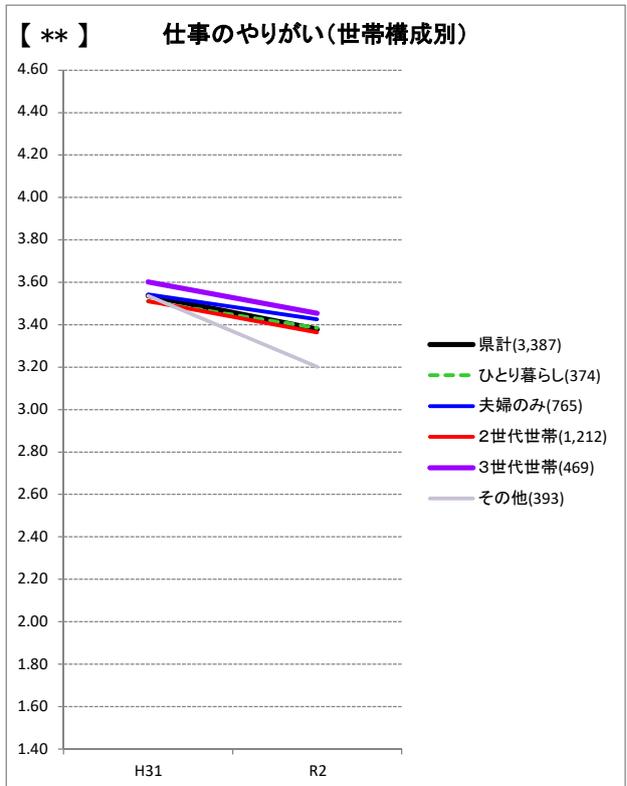
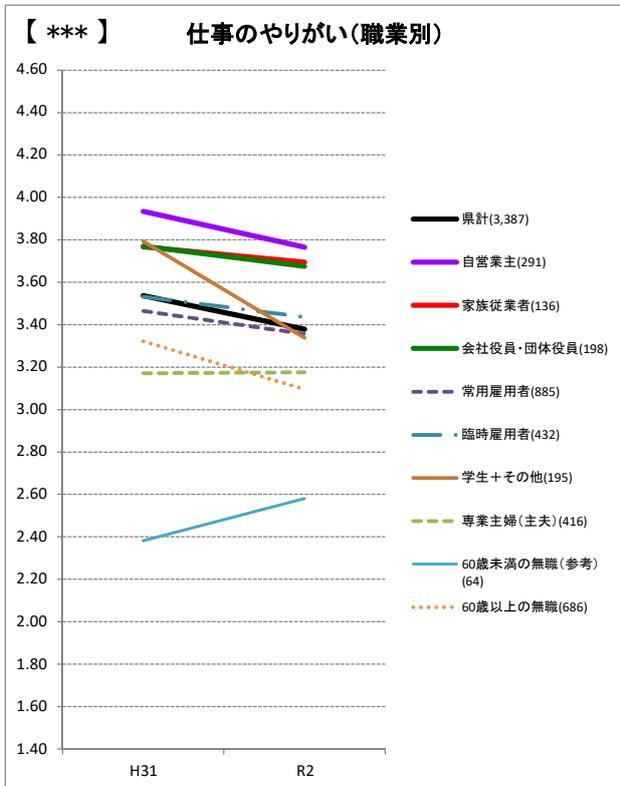
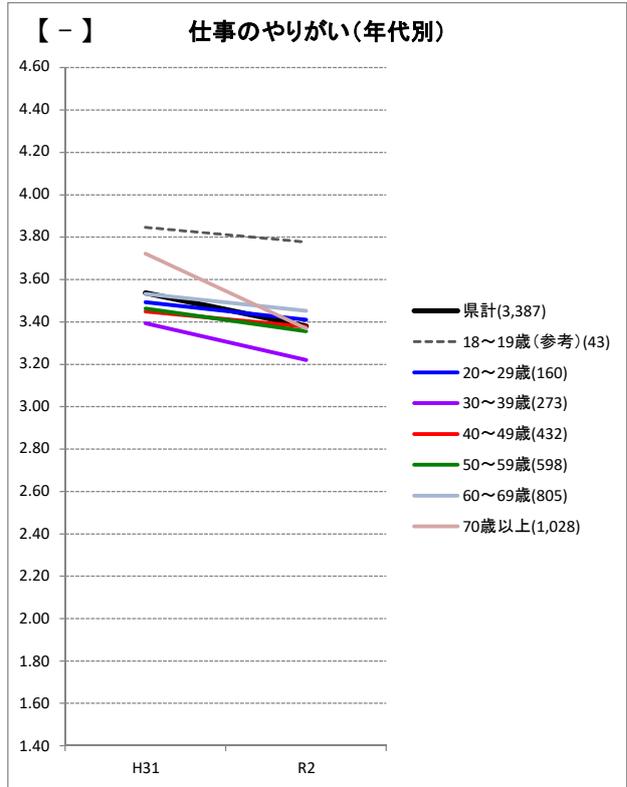
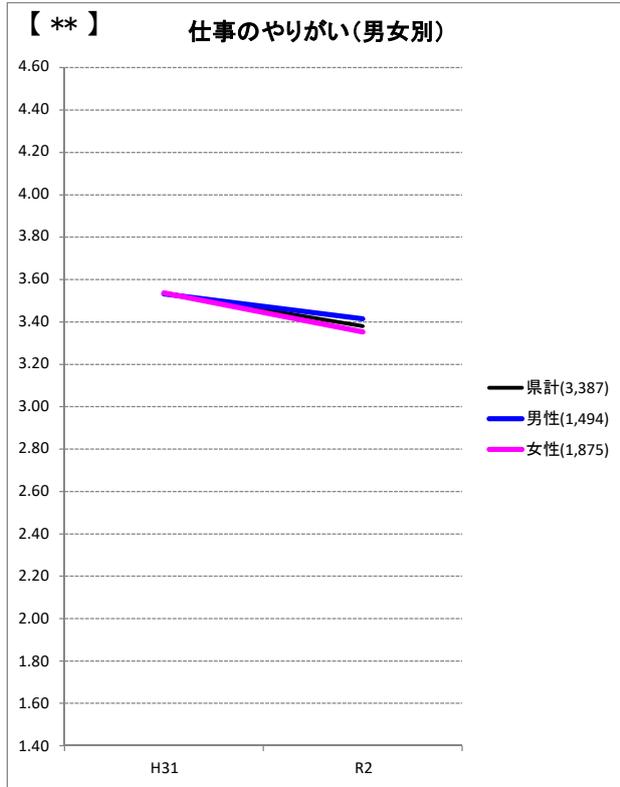


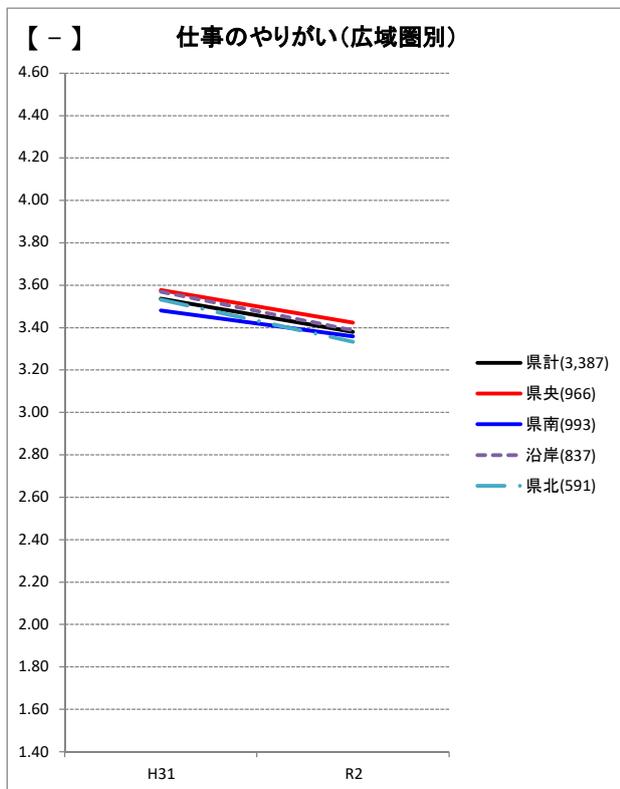
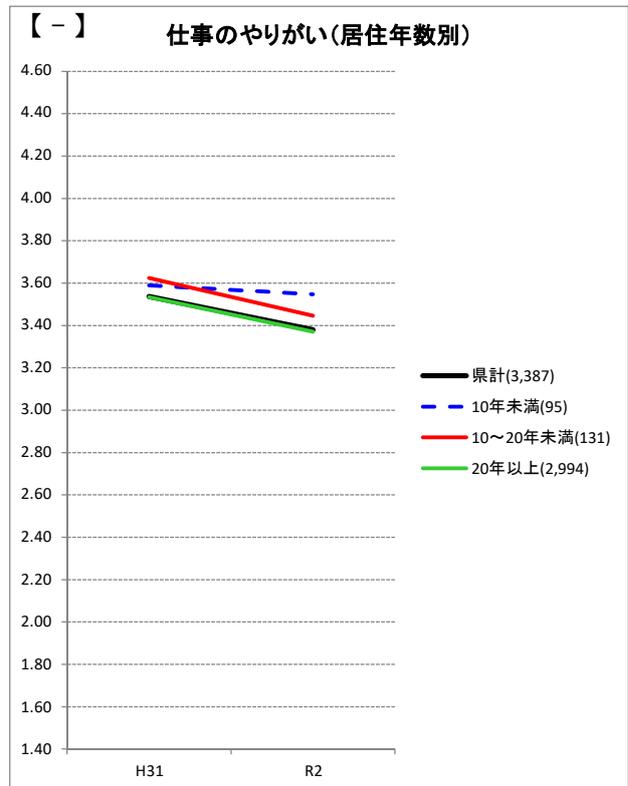
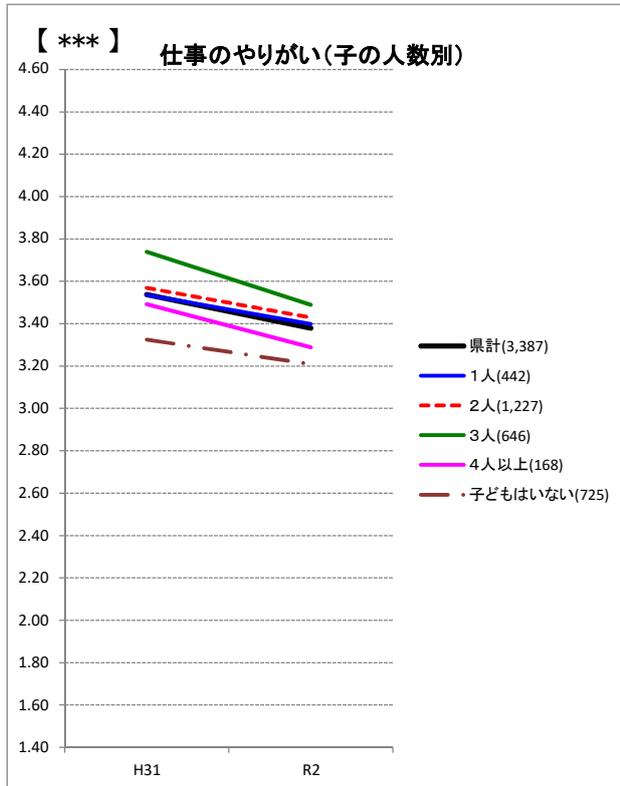


■凡例■
 グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】10%水準で差が有意(差が認められる)
 【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑨仕事にやりがいを感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、男女別、職業別、世帯構成別、子の人数別で有意な差が認められた。
 男女別では、男性が高く、女性が低かった。職業別では、自営業主が高く、60歳以上の無職が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子3人が高く、子0人が低かった。
 ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に下降していた。





■凡例■

グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意(差が認められる)

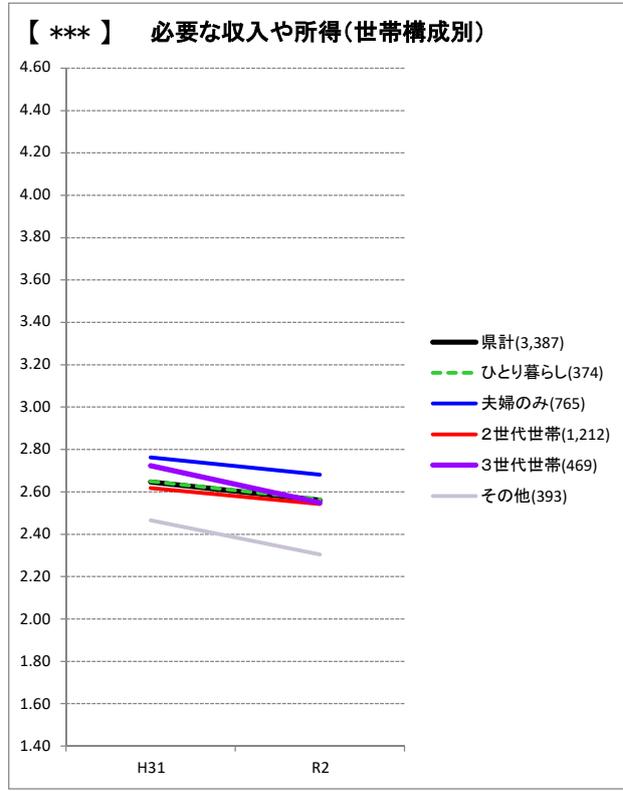
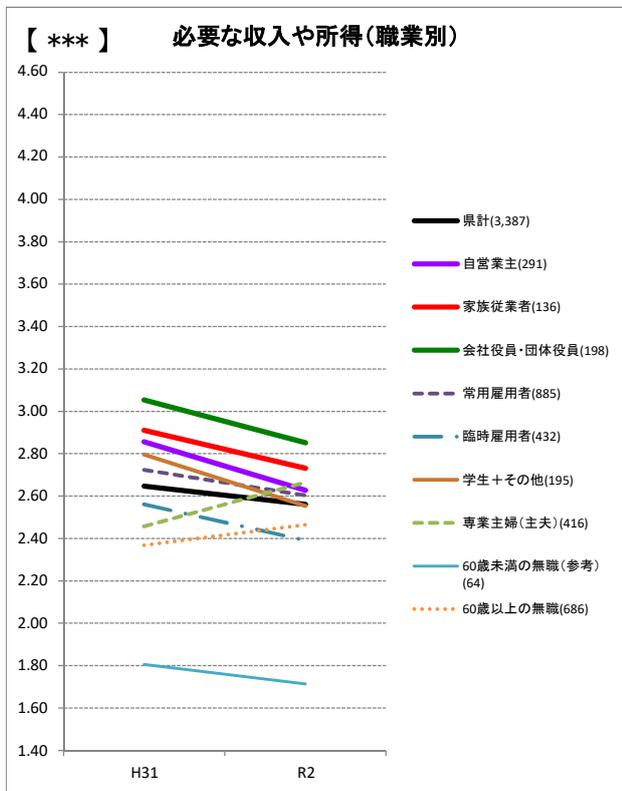
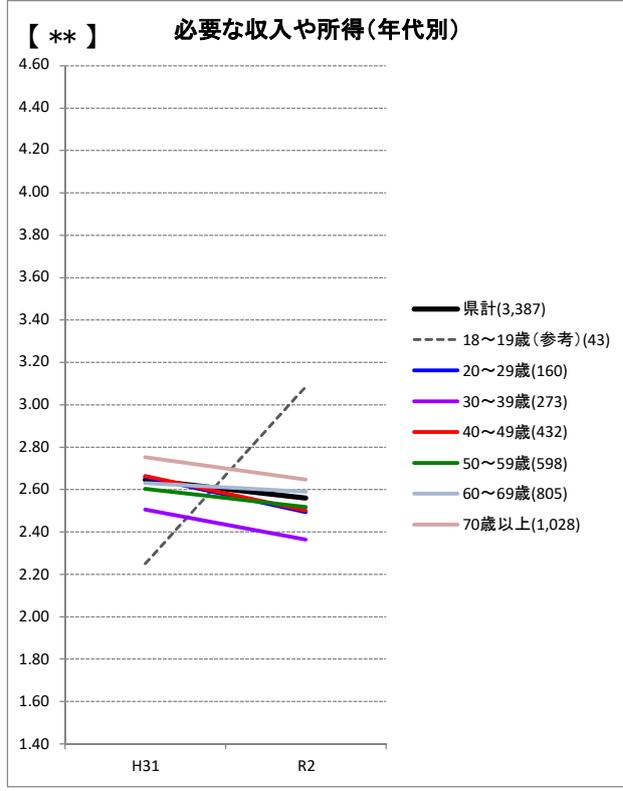
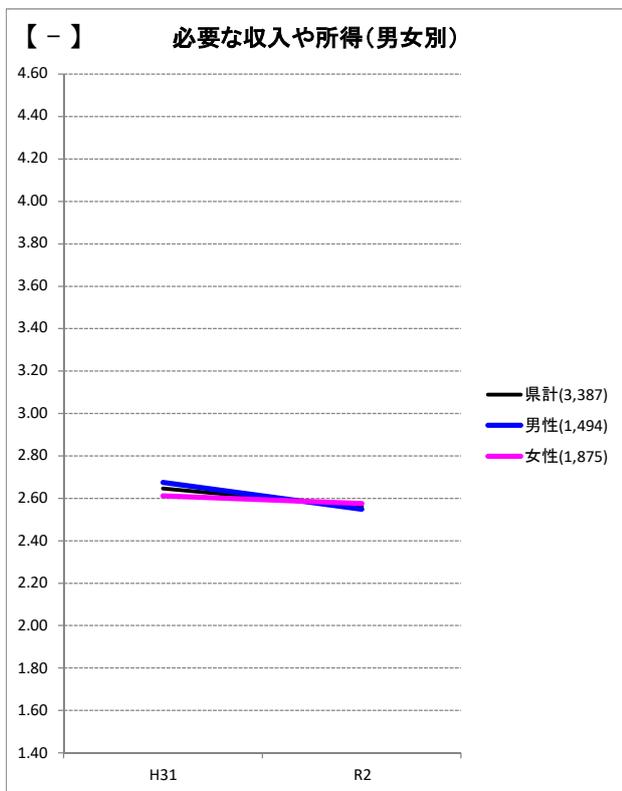
【-】 差が認められない

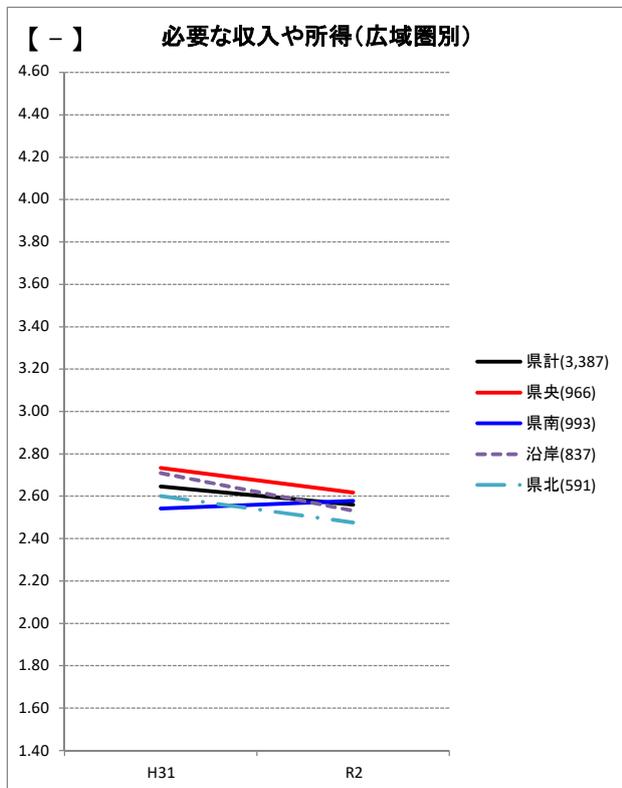
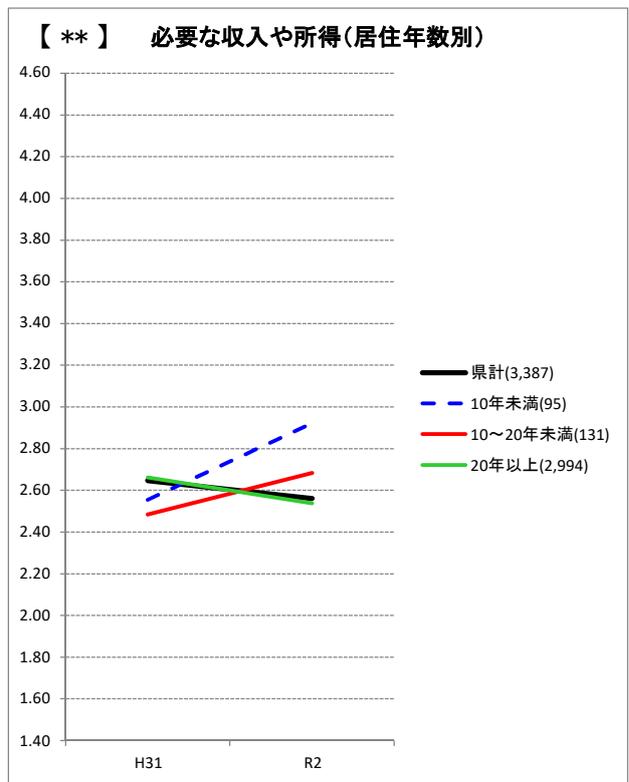
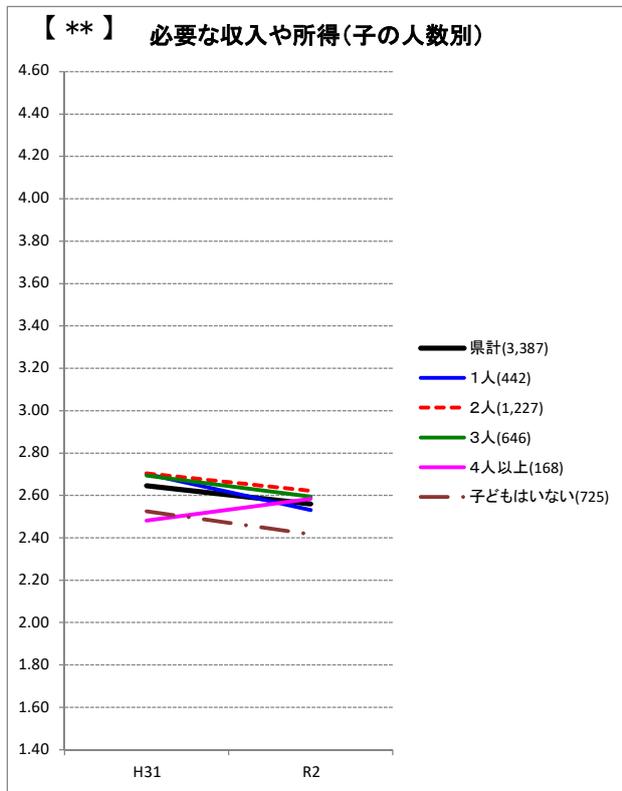
【県計】【分野別実感】⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、子の人数別、居住年数別で有意な差が認められた。

年代別では、70歳以上が高く、30歳代が低かった。職業別では、会社役員・団体役員が高く、臨時雇用者が低かった。世帯構成別では、夫婦世帯が高く、その他世帯が低かった。子の人数別では、子2人が高く、子0人が低かった。居住年数別では、10年未満が高く、20年以上が低かった。

・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に下降していた。





■凡例■

グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

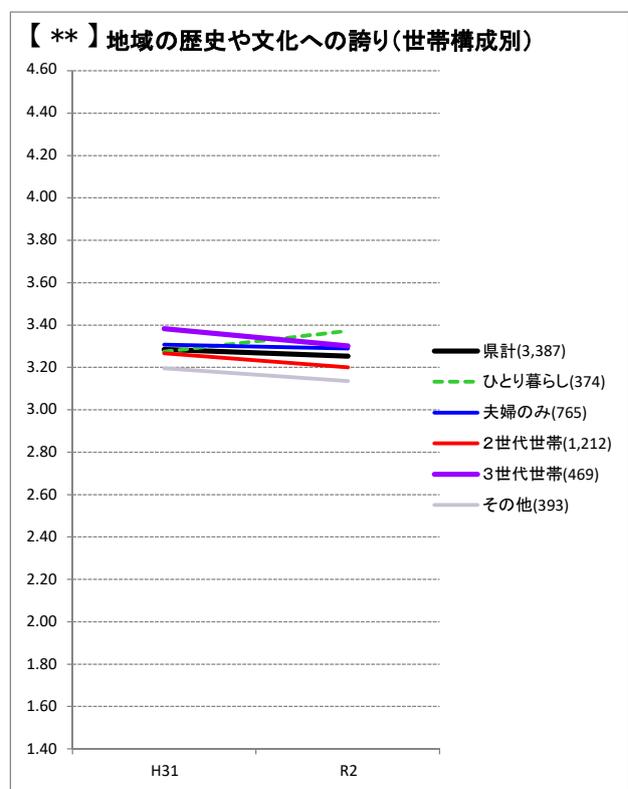
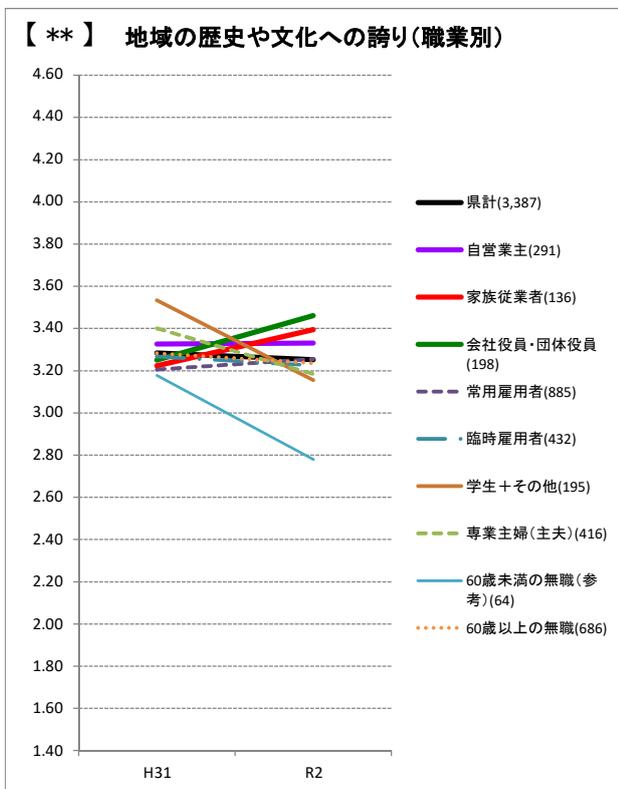
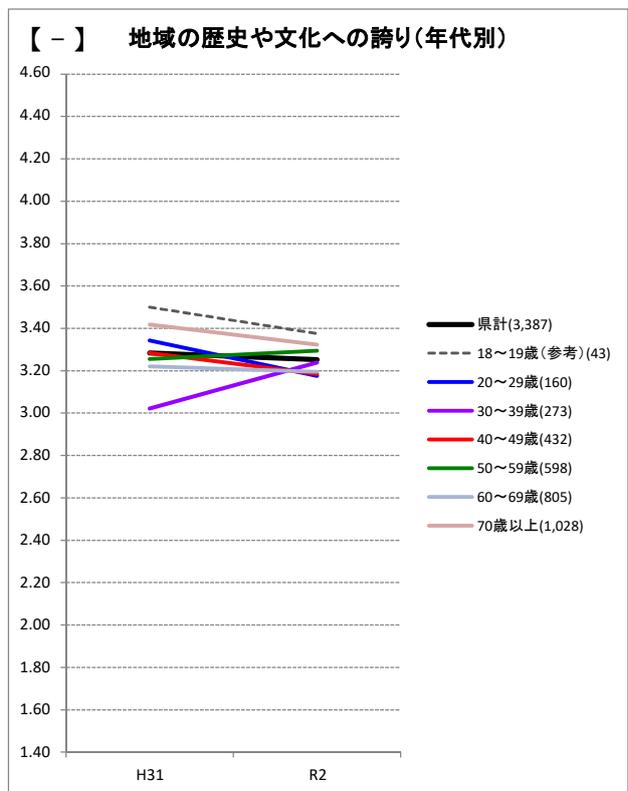
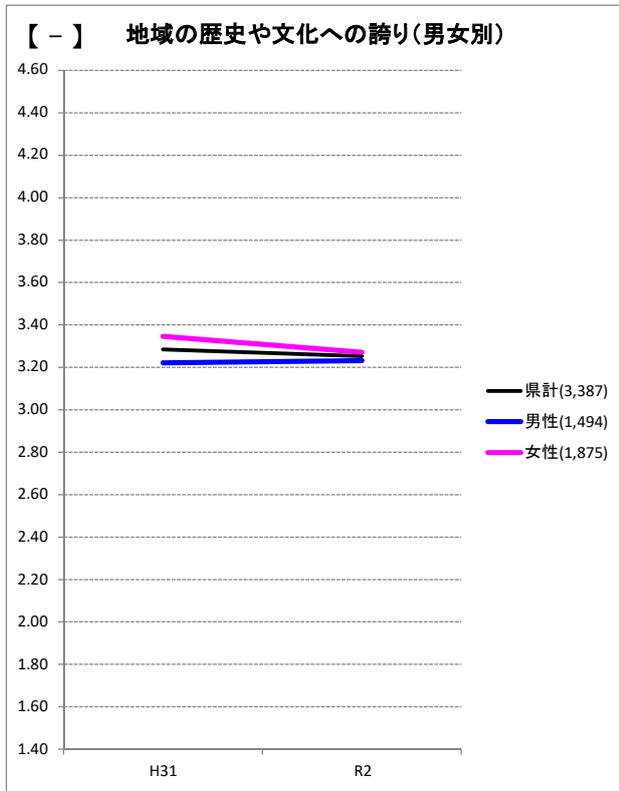
【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意(差が認められる)

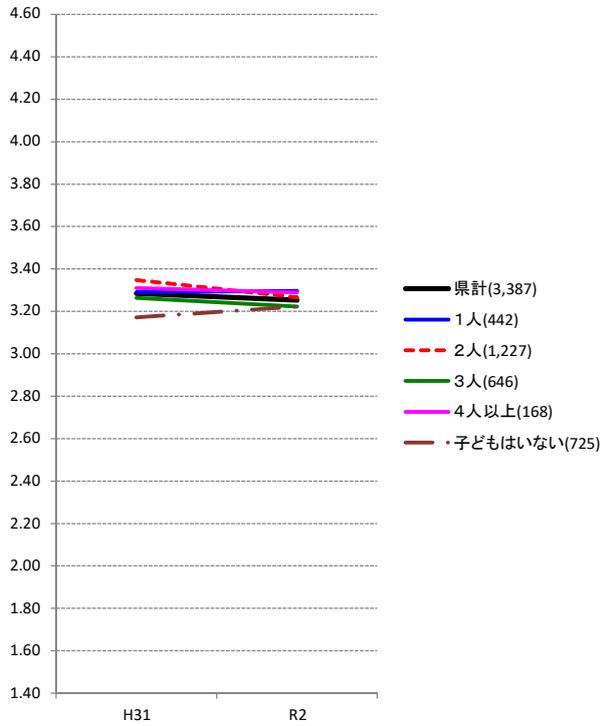
【-】差が認められない

【県計】【分野別実感】⑪地域の歴史や文化に誇りを感じますか。

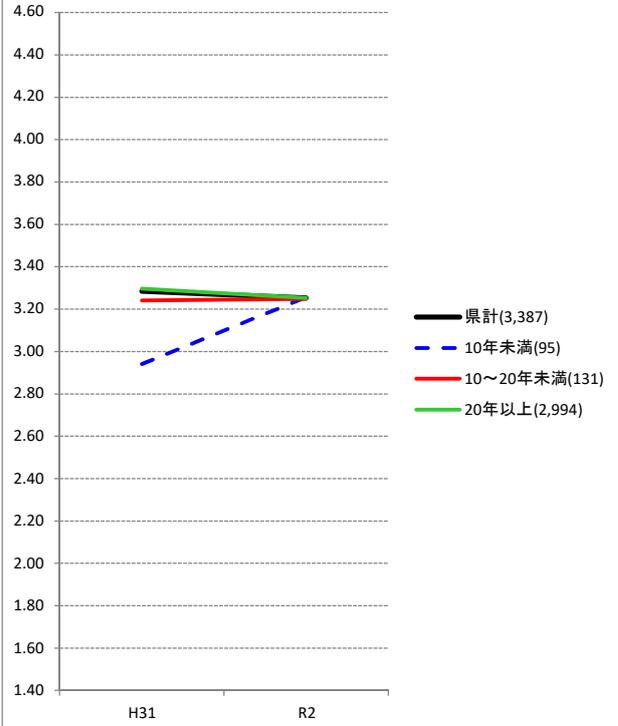
- ・令和2年調査結果において、属性別に見ると、職業別、世帯構成別で有意な差が認められた。
職業別では、会社役員・団体役員が高く、学生等が低かった。世帯構成別では、ひとり暮らしが高く、その他世帯が低かった。
- ・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意な変化は確認できなかった。



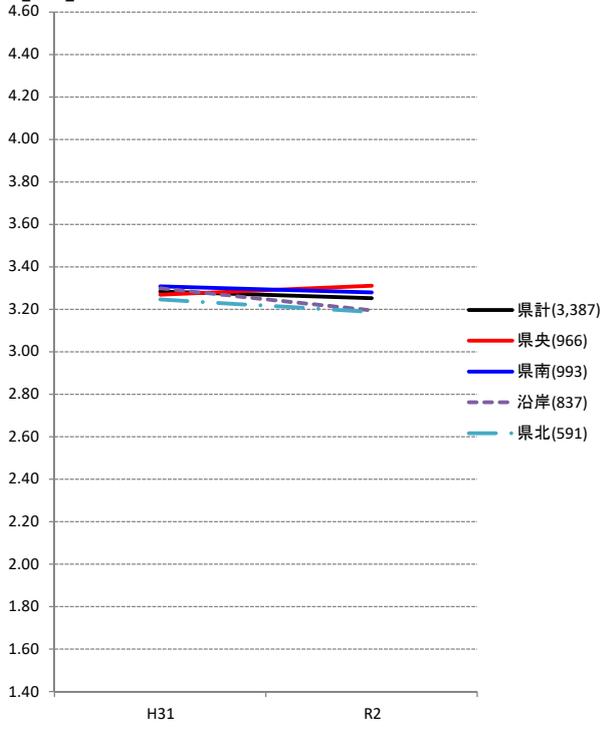
【 - 】 地域の歴史や文化への誇り(子の人数別)



【 - 】 地域の歴史や文化への誇り(居住年数別)



【 * 】 地域の歴史や文化への誇り(広域圏別)



■凡例■

グラフ左上の*は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。

【***】1%水準で差が有意(差が認められる)

【**】5%水準で差が有意(差が認められる)

【*】10%水準で差が有意(差が認められる)

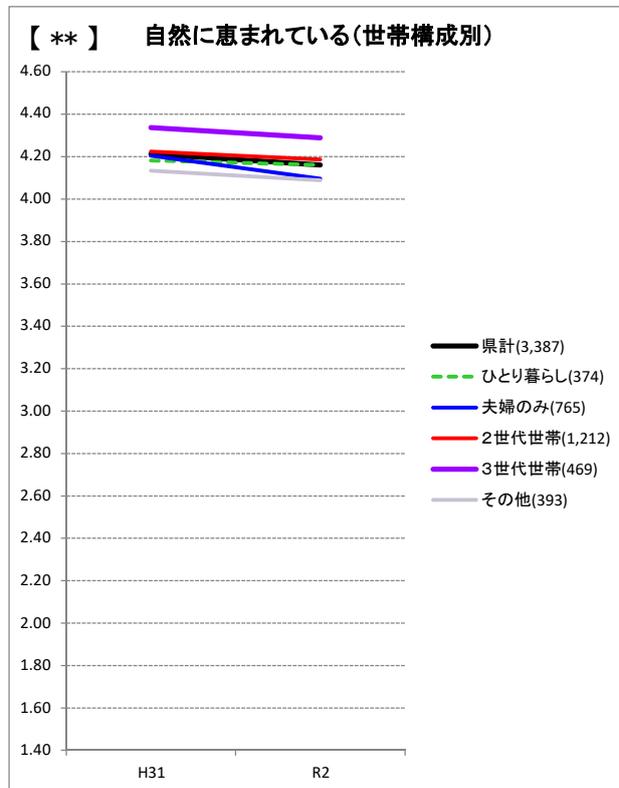
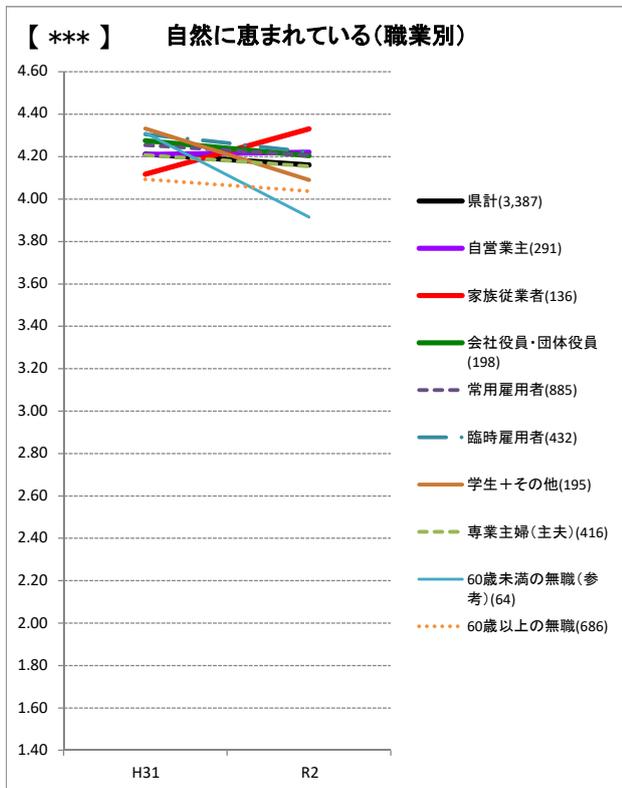
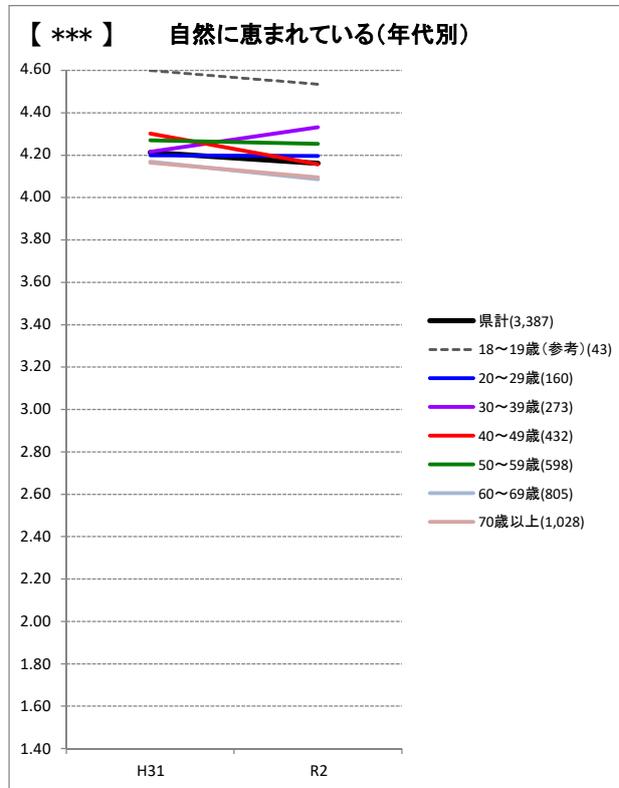
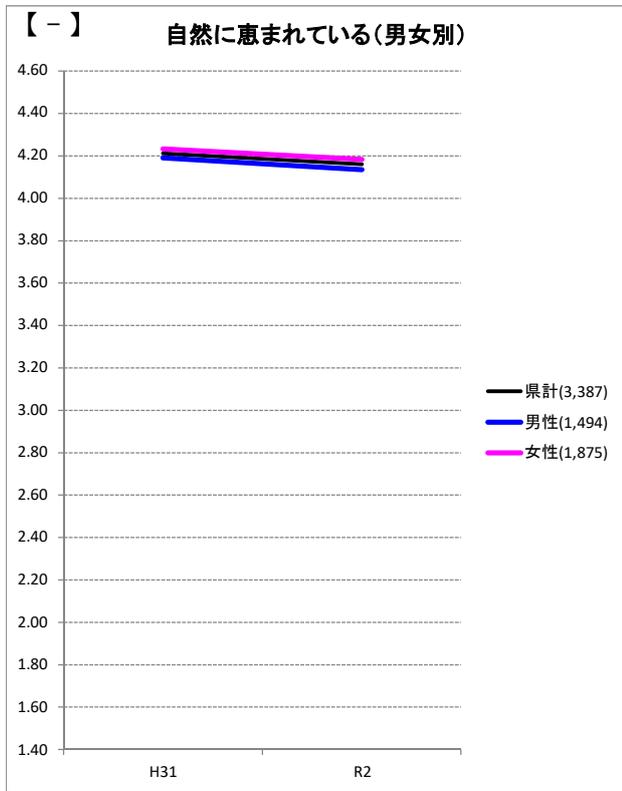
【-】 差が認められない

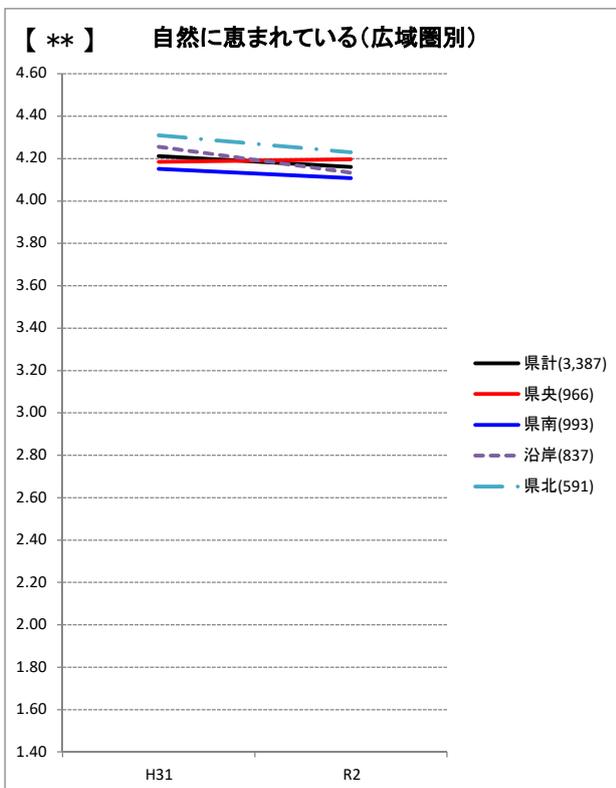
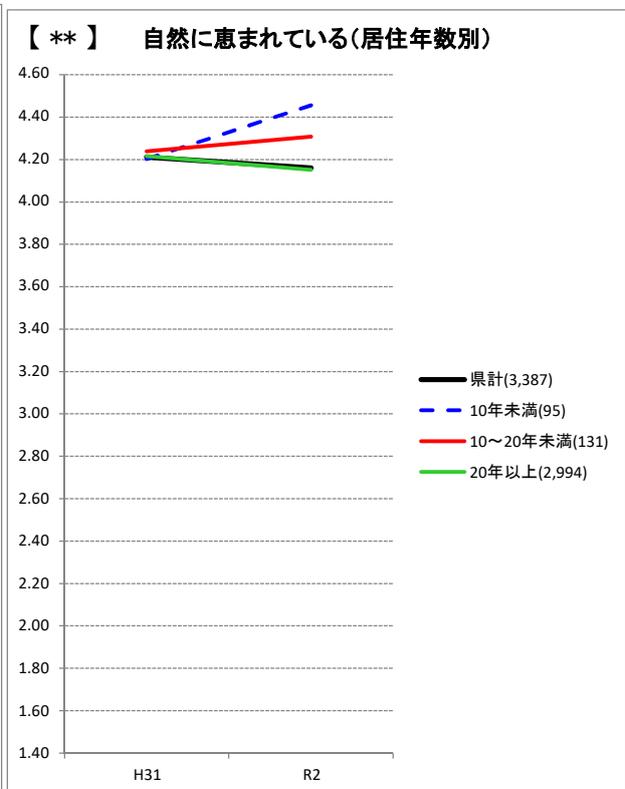
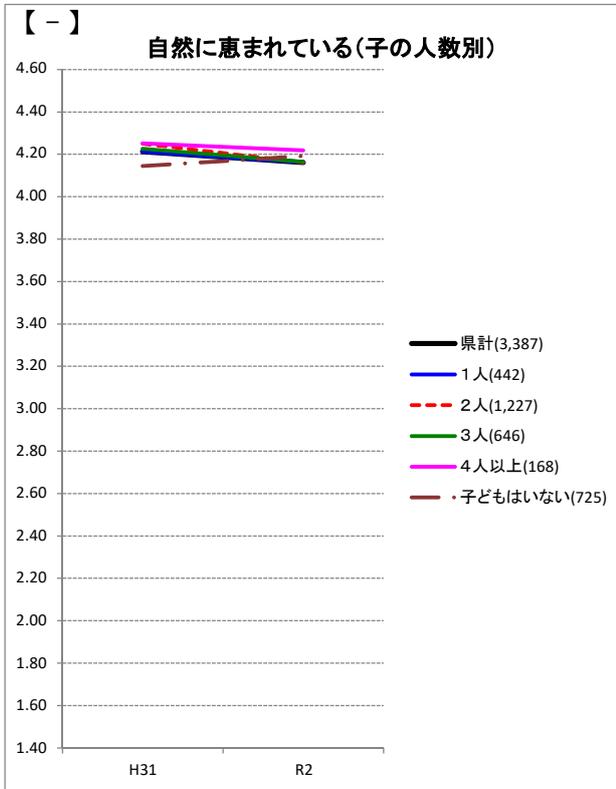
【県計】【分野別実感】⑫自然に恵まれていると感じますか。

・令和2年調査結果において、属性別に見ると、年代別、職業別、世帯構成別、居住年数別、広域圏別で有意な差が認められた。

年代別では、30歳代が高く、60歳代が低かった。職業別では、家族従業者が高く、60歳以上の無職が低かった。世帯構成別では、3世代世帯が高く、その他世帯が低かった。居住年数別では、10年未満が高く、20年以上が低かった。広域圏別では、県北広域振興圏が高く、県南広域振興圏が低かった。

・実感平均値は、平成31年調査から令和2年調査にかけて、有意に下降していた。





■ 凡例 ■
 グラフ左上の * は、R2調査結果の属性別一元配置分散分析結果を示す。
 【***】 1%水準で差が有意(差が認められる)
 【**】 5%水準で差が有意(差が認められる)
 【*】 10%水準で差が有意(差が認められる)
 【-】 差が認められない

県民意識調査の属性別分析【県計】

標本数

男女

	H31	R2
県計	3,327	3,387
男	1,611	1,494
女	1,693	1,875

年代

	H31	R2
県計	3,327	3,387
18～19歳	38	43
20～29歳	166	160
30～39歳	293	273
40～49歳	429	432
50～59歳	553	598
60～69歳	752	805
70歳以上	986	1,028

職業

	H31	R2
県計	3,327	3,387
自営業主	309	291
家族従業者	95	136
会社役員・団体役員	207	198
常用雇用者	885	885
臨時雇用者	390	432
学生＋その他	171	195
専業主婦(主夫)	340	416
60歳未満の無職	62	64
60歳以上の無職	716	686

世帯構成

	H31	R2
県計	3,327	3,387
ひとり暮らし	402	374
夫婦のみ	757	765
2世代世帯	1,143	1,212
3世代世帯	461	469
その他	410	393

子の数

	H31	R2
県計	3,327	3,387
1人	428	442
2人	1,232	1,227
3人	637	646
4人以上	160	168
子どもはいない	710	725

居住年数

	H31	R2
県計	3,327	3,387
10年未満	101	95
10～20年未満	125	131
20年以上	2,961	2,994

広域振興圏

	H31	R2
県計	3,327	3,387
県央広域振興圏	938	966
県南広域振興圏	1,014	993
沿岸広域振興圏	800	837
県北広域振興圏	575	591

